



Windows MBox ビューア ユーザーマニュアル 1.0.3.50

目次

1 変更履歴 4.....	
2 バージョン 1.0.3.505 の新機能と変更点.....	
2.1 新機能 5.....	
2.2 何が変わったか 5.....	
3 ライセンス 5.....	
4 この文書について 5.....	
5 フィードバック 6.....	
6 概要 6.....	
7 既知の問題 7.....	
7.1 MBox Viewer7 の実行.....	
7.2 フォルダパスの制限 7.....	
7.3 PDF への印刷 7.....	
7.4 複数のメールを選択して印刷する 7.....	
7.5 メールの日付と時刻 8.....	
7.6 検索 8.....	
8 インストール 8.....	
9 構成データストア 8.....	
10 MBox ビューアの実行 9.....	
10.1 引数リストの要約 9.....	
10.2 GUI からオプションを設定する 10.....	
10.3 基本的な使用例 11.....	
10.4 複数フォルダのサポート 14.....	
10.5 フォルダ階層のサポート 14.....	
10.5.1 マージ設定ダイアログのルートフォルダの選択 15.....	
10.6 データフォルダの設定 16.....	
10.7 テキストフォントサイズの設定 16.....	
10.7.1 制限事項 16.....	
10.8 メールアーカイブツリーウィンドウでの Mbox ファイルの非表示と復元 17.....	
10.9 メールアーカイブツリーウィンドウの非表示 18.....	
10.10 メールアーカイブファイルを開くためのデフォルトのアプリケーションとして MBox Viewer を設定する 19.....	
10.11 メッセージウィンドウの位置 19.....	
10.12 ウィンドウの配置の保持 20.....	
10.13 背景色スタイルのカスタマイズ 20.....	
10.14 Gmail ラベルのサポート 22.....	
10.14.1 制限事項 23.....	
10.15 メッセージヘッダーフィールドリストの拡張 24.....	
10.16 生のメッセージヘッダーの表示 24.....	
10.17 HTML/PDF メールヘッダーのカスタマイズ 24.....	
10.18 単一メールのコンテキストメニュー 25.....	
10.18.1 ファイル名 26.....	
10.19 複数メール選択のコンテキストメニュー 26.....	
10.19.1 ファイル名 27.....	
10.20 会話メールグループのコンテキストメニュー 27.....	
10.20.1 ファイル名 28.....	
10.21 メールアーカイブのコンテキストメニュー 28.....	
10.21.1 CSV ファイルへの印刷ダイアログ 29.....	
10.22 メール添付ファイル 29.....	
10.22.1 添付ファイルのコンテキストメニュー 30.....	

10.22.2 添付ファイルの設定	30
10.22.3 すべてのメールのすべての添付ファイルをエクスポートする	31
10.23 インライン画像キャッシュ	31
10.24 すべてのメールを別の Eml ファイルにエクスポート	31
10.25 画像ビューア	33
10.26 メールナビゲーション	34
10.27 メール仕分け	34
10.27.1.1 件名の並べ替えルール	34
10.28 動的な列のサイズ変更	35
10.29 メール検索	35
10.29.1 基本的な検索	35
10.29.1.1 オプション 36 に一致するすべてのメールを検索する	
10.29.1.2 オプション 36 に一致しないメールを検索する	
10.29.1.3 特殊な「*」検索文字列の扱い	37
10.29.1.4 日付のフィルタリング	37
10.29.2 高度な検索	38
10.29.2.1 オプション 39 に一致しないすべてのメールを検索する	
10.29.2.2 特殊な「*」検索文字列の扱い	39
10.29.2.3 日付のフィルタリング	39
10.29.3 検索の信頼性	39
10.29.4 単語の検索	40
10.29.5 検索プログレスバー	40
10.29.6 検索パフォーマンス	40
10.30 アーカイブツリーウィンドウの更新	41
10.31 言語(文字セット)のサポート	41
10.31.1 メッセージウィンドウ	41
10.31.1.1 メッセージウィンドウのヘッダー	42
10.31.2 サマリーウィンドウ	43
10.32 メールリスト監査	43
10.32.1 メールリストのアーカイブ	44
10.32.2 複数のメールアーカイブの結合	45
10.32.2.1 コマンドラインオプションを使用したファイルのマージ	45
10.32.2.2 GUI45 からのファイルのマージ	
10.33 メール印刷の概要	46
10.33.1 印刷設定ダイアログ	46
10.33.1.1 カスタム名テンプレート	47
10.33.2 CSV スプレッドシートファイルへのメール印刷	48
10.33.3 メールをテキストファイルへ印刷する	48
10.33.4 HTML ファイルへのメール印刷	48
10.33.5 PDF プリンタへのメール印刷	48
10.33.6 PDF ファイルへのメール印刷	49
10.33.6.1 無料の wkhtmltopdf アプリケーションの使用	49
10.33.6.2 印刷オプション	49
10.33.6.3 Firefox、Chrome、Edge ブラウザから直接印刷する	50
10.33.6.4 複数のメールを単一の PDF50 に印刷する場合のフォントサイズへの影響	
10.33.6.5 パフォーマンス	51
10.33.7 メールから PDF ファイルへの印刷(パワーユーザー向け)	51
10.33.7.1 大きな PDF ファイルの表示	52
10.33.8 他の人とのメール共有	52
10.33.9 ディレクトリ構造のエクスポートと印刷	54

11 読み取り専用メディアのサポート 55.....
12 MBox Viewer から直接メールを転送する 55.....
12.1 概要 55.....
12.2 ユーザーアカウントとパスワード 55.....
12.2.1 Yahoo メールサービス 56.....
12.2.2 Gmail メールサービス 56.....
12.2.2.1 Gmail ユーザーが Gmail にサインアップする際に 2 段階認証を有効にしていなかった 56.....
12.2.2.2 Gmail ユーザーは Gmail にサインアップするために 2 段階認証を有効にしました 56.....
12.2.3 Outlook Live メールサービス 57.....
12.2.3.1 Outlook アカウント、ユーザー名、パスワードの作成 58.....
12.2.3.1.1 Microsoft アカウント(MSA)と Outlook Live アカウントを持っていない 58.....
12.2.3.1.2 すでに Microsoft アカウントと Outlook Live アカウントの両方をお持ちの場合 58.....
12.2.3.2 アプリパスワードを生成する展望 58.....
12.3 メール送信とサイズ制限 58.....
12.3.1 Gmail メールサービス 59.....
12.3.2 Yahoo メールサービス 59.....
12.3.3 Outlook メールサービス 59.....
12.4 SMTP サーバーの設定 59.....
12.4.1 SMTP サーバーのデフォルト設定 60.....
12.5 メールの転送 61.....
12.5.1 単一の電子メールを転送する 61.....
12.5.2 選択したメールのリストを転送する 62.....
12.5.3 エラー報告 62.....
13 複数言語のサポート 62.....
13.1 言語設定 62.....
13.2 制限事項 63.....
14 Windows コードページ識別子 63.....
14.1 不明なコードページ名の処理 67.....

1 変更履歴

リビジョン	日付	コメント
1.0	2018 年 2 月 28 日	初回リリース
< 1.0.3.1		リリース パッケージに含まれている ReadMe.markdown 1.0.3.1 を参照してください。
1.0.3.1 以上	2019 年 9 月 26 日	「バージョン 1.0.3.x の新機能と変更点」のセクションを参照してください。
> 1.0.3.48	2025 年 3 月 3 日	英語版ユーザーガイドは MBox Viewer のリリース番号と一致します。機能に重要な変更がない場合は、英語版以外のバージョンは更新されない場合があります。

2 バージョン 1.0.3.50 の新機能と変更点

2.1 何が新しいのか

1. ユーザーがフォントサイズを制御できるオプションを実装しました。ダイアログとメニューは、新しいフォントサイズに合わせて自動的にサイズ変更されます。
2. 日本語および中国語(繁体字)のサポートが追加されました。

2.2 何が変わったのか

1. メールアドレスからユーザー名とアドレスへの解析が強化されました。

3 ライセンス

mbox ビューアプロジェクトの作者によって作成された mbox ビューアのソースコードは、以下のライセンスの下で提供されています。GNU AFFERO GENERAL PUBLIC LICENSE バージョン 3 は、個人および組織によるコードの自由な利用を許可しています。ソースコードの一部は Code Project サイトから取得しており、Code Project Open License (CPOL) 1.02 に基づいてライセンスされています。これは、私たちの理解では、不正使用などの一部の例外的なケースを除き、コードの自由な利用を許可しています。SMTP サーバーに接続するための MailKit オープンソース無料ライブラリは、MIT ライセンスに基づいています。

mbox ビューア実行ファイルは、非フリーな使用ライブラリをリンクしていないため、私たちの理解するところによれば、個人や組織が自由に使用できます。

mbox ビューア ソフトウェアは有用であることを期待して配布されていますが、いかなる保証もなく、商品性や特定目的への適合性に対する暗黙の保証さえもなしに配布されています。

GPL、CPOL、MIT ライセンス条項の詳細については、以下のリンクを確認してください。

<https://mit-license.org/>

<https://github.com/jstedfast/MailKit/blob/master/LICENSE>

<https://www.gnu.org/licenses/agpl-3.0.txt>

<https://www.codeproject.com/info/cpol10.aspx>

役に立つ可能性のある追加の出版物へのリンク。

<https://www.codeproject.com/info/Licenses.aspx>

<https://opensource.guide/legal/#プロジェクトに適したオープンソースライセンス>

4 この文書について

MBox Viewer バージョン 1.0.3.27 以降、フォルダとメールアーカイブを表すアイコンが変更されました。メールアーカイブは以前はフォルダアイコンで表示されていましたが、現在はメール封筒の束で表示されます。メールフォルダは以前はコンピュータアイコンで表示されていましたが、現在はフォルダアイコンで表示されます。ただし、すべてのスクリーンショットはまだ変更を反映していません。

5 フィードバック

MBox Viewer の改善にご協力いただくため、動作確認済みの機能や不具合に関するレビューの投稿、バグレポートの作成、機能強化のリクエストにご協力ください。国名、スクリーンショットなど、できるだけ詳細な情報をご提供ください。

6 概要

MBox Viewer (または mboxview) は、Thunderbird アーカイブ、Google メール アーカイブ、または単純な Eml ファイルなどの mbox ファイルを表示するための Windows GUI ベースのプログラムです。

mbox ビューアは、次の機能をサポートするシンプルですが非常に強力な電子メール ビューアです。

1. 4GB を超える大容量ファイルのサポート
2. mbox アーカイブの高速解析
3. すべての添付ファイルへのクイックアクセス
4. 画像の添付ファイルをプレビューする
5. 写真を拡大/縮小する
6. Eml での単一メールのエクスポート
7. すべてのメールを EML 形式でエクスポート
8. すべてのメールの添付ファイルをエクスポートする
9. 選択したすべてのメールまたは複数のメールを CSV、テキスト、HTML、PDF ファイルに印刷するか、PDF プリンターに送信します。
10. 単一のメールをテキスト、HTML、PDF ファイルに印刷するか、PDF プリンタに送信します。
11. 関連するメールをすべて会話としてグループ化する
12. メール会話/関連メールグループを CSV、テキスト、HTML、PDF ファイルに印刷するか、PDF プリンターに送信します。
13. ブラウザで選択した 1 つまたは複数のメール、または関連するメールのグループを開く
14. メールのメッセージ内のユーザー定義テキストを検索し、すべての出現箇所を強調表示します
15. 日付、件名、送信者、CC、BCC、メッセージ本文、付録本文、付録名を検索します。
16. 検索条件に一致しなかったメールを検索する
17. 日付、送信元、送信先、件名、サイズ、会話グループで並べ替え
18. 異なる文字セットでエンコードされたメールのヘッダーフィールドと本文のサポート
19. メール リスト編集機能のサポートにより、ユーザーは複数の検索の結果を結合したり、ユーザーが選択した 1 つ以上のメールを結合したりしてメール リストを作成できます。
20. メッセージウィンドウの位置を下、右、左に設定する機能
21. 複数のアーカイブファイルを結合/連結し、重複したメールを削除する機能
22. 表示パネルとメールメッセージの背景色をカスタマイズする機能
23. HTML/PDF メールヘッダー出力をカスタマイズする機能
24. 生のメールヘッダーを表示する
25. MBox Viewer から直接メールを転送する
26. Gmail ラベルのサポート
27. Thunderbird や類似のメールクライアントからエクスポートされたメールファイルの階層構造のサポート
28. メール共有 (またはメールエクスポート) 機能のサポートにより、ユーザーは選択した 1 つ以上のメールを HTML 形式および PDF 形式で他のユーザーと共有できるようになります。
29. Windows レジストリベースおよびファイルベースの構成のサポート
30. 複数の言語のサポート

7 既知の問題

7.1 MBox ビューアの実行

MBox Viewer は、常に 1 つのインスタンスのみ実行する必要があります。MBox Viewer でメールファイルを直接開く場合、またはメールプレビューモードで起動する場合は、2 つ目のインスタンスの実行が許可されます。

7.2 フォルダパスの制限

MBox Viewer は、データベースの実装に Windows ファイルシステムを利用しています。MBox Viewer は、印刷(.. [txt|pdf|htm|csv])などのユーザーリクエストに応じてファイルを作成します。Windows のファイル名の最大文字数(255 文字)制限により、問題を回避するには、MBox Viewer と MBOX メールファイルを短いパスのフォルダにインストールする必要があります。MBox Viewer によって作成されるファイル名は、以下の要素で構成されます。

「インストールフォルダのパス」+「メールファイルが格納されているフォルダのパス」+「メールの件名.[txt|htm|pdf|csv]」

MBox Viewer は必要に応じて「メール件名.[txt|htm|pdf|csv]」部分の長さを短縮できますが、その他の部分はユーザーが制御できます。

7.3 PDF への印刷

MBox Viewer は、Microsoft Edge および/または Google Chrome ブラウザを使用して PDF に直接印刷します。

PDF に直接印刷する場合、印刷のカスタマイズは制限されます。

ブラウザでメールを開き、ブラウザから印刷すると、出力から色を削除したり、ページを拡大縮小したりする機能などの追加オプションが提供されます。

7.4 選択した複数のメールを印刷する

Mbox Viewer は、HTML 形式の複数のメールを 1 つの HTML ファイルに結合し、ブラウザで開きます。作成されたファイルの形式は基本的に以下のとおりです。

```
<div><html><メール 1 のヘッダー (HTML 形式)></html></div><div><html><メール 1 の本文 (HTML 形式)></html></div><div><html><メール 2 のヘッダー (HTML 形式)></html></div><div><html><メール 2 の本文 (HTML 形式)></html></div><div><html><メール 3 のヘッダー (HTML 形式)></html></div><div><html><メール 3 の本文 (HTML 形式)></html></div>
.....
```

<div> タグは、HTML ドキュメント内に独立したセクションを作成するために使用されます。

この方法は、様々な理由から常に確実に機能するとは限りません。既知の問題の一つとして、HTML 形式のコンテンツを含む一部のメールはフォントサイズなどのデフォルト値に依存しており、他のメールのフォントサイズを継承してしまうことがあります。MBox Viewer は、こうした問題を最小限に抑えるために強化されました。

まれに、選択した複数のメールを PDF に印刷するときに、「結合」オプションを使用して潜在的な問題を解決します。

7.5 メールの日時

エポックタイム(1970 年より古いもの)より古いメールもサポートされていますが、そのようなメールの日時は 1970 年 1 月 1 日にマッピングされます。Windows はさまざまな日付・時刻関数をサポートしていますが、夏時間(サマータイム)をサポートするのは Unix 形式の日付・時刻関数のみです。ただし、これらの関数は 1970 年より古い日付をサポートしていません。

7.6 検索中

単語の検索は、ASCII および ISO-8859-1 の文字で構成された単語に対しては非常に信頼性が高いです (ISO ラテン 1 と呼ばれる) 文字セットで構成されているメールを検索する際に、単語検索オプションを設定しないでください。ASCII および ISO-8859-1 文字セットで構成されていないメールを検索する場合は、単語検索オプションを設定しないでください。

8 インストール

実行ファイルとソースコードは、Sourceforge または Github からダウンロードできます。

<https://sourceforge.net/projects/mbox-viewer/files/>

<https://github.com/eneam/mboxviewer/releases>

実行可能パッケージ(最新の mbox-viewer.exe-v1.0.3.50.zip)を作業ディレクトリにダウンロードし、解凍してください。これにより、スタンドアロンの mboxview.exe 実行ファイル、ユーザーガイド、scripts サブディレクトリ、ReleasePlusStackTrace サブディレクトリを含む mbox-viewer.exe-v1.0.3.50 ディレクトリが作成されます。mbox ビューアーのインストールと実行には管理者権限は必要ありません。

Mbox Viewer がクラッシュした場合は、HELP.txt ファイルを確認してください。

9 構成データストア

MBox Viewer は、Windows レジストリベースの設定とファイルベースの設定をサポートしています。# デフォルトでは、Windows レジストリが設定データの保存に使用されます。# 起動時に、MBox Viewer は MBoxViewer.config ファイルが存在し、書き込み可能であるかどうかを確認します。## 1) MBox Viewer ソフトウェアのインストールフォルダの Config サブフォルダ、または# 2) Windows システムによって作成されたユーザー固有のフォルダの UMBoxViewer\Config サブフォルダ内。# 例: C:\Users\UserName\AppData\Local\UMBoxViewer\Config## 設定ファイルの形式は、「.reg」レジストリファイルの形式に似ています。# [UMBoxViewer\LastSelection]# "parameter"="value"## 各行の先頭

と「=」文字の周囲には空白は使用できません。# すべてのパラメータ値は文字列としてエンコードされ、必要に応じて MBox Viewer によって数値またはその他のデータ型に変換されます。##
MBoxViewer.config ファイルは UTF16LE BOM ファイルとしてエンコードされている必要があります。##
MBoxViewer.config.sample ファイルは Config フォルダの下のソフトウェア パッケージです。# MBox Viewer がファイル ベースの構成を使用できるようにするには、# ユーザーはこのファイルの名前を MBoxViewer.config ファイルに変更するか、サンプル ファイルを C:\Users\UserName\AppData\Local\UMBoxViewer\Config フォルダにコピーして名前を変更する必要があります。#

10 MBox ビューアの実行

mboxview プログラムは、エクスプローラー ウィンドウから実行可能ファイルをダブルクリックするか、コマンドラインからコマンド名と引数リストを入力して実行できます。

10.1 引数リストの概要

mboxview は次のコマンドライン オプションを受け入れます。

-**フォルダー**=フォルダパス – 1 つ以上の mbox ファイルまたは eml ファイルを含むフォルダへのフルパス。複数回実行してもレジストリに保持されます。

-**メールファイル**=fileName – 読み込む mbox/eml ファイルのフルパスまたはファイル名。フルパスが指定されていない場合は、folderPath と fileName からフルパスが作成されます。この値は複数回実行してもレジ

ストリに保存されません。

-EML_PREVIEW_MODE-MAIL_FILE が設定されている場合に、Mbox ツリーとメールリスト ペインを非表示にするコマンドライン オプション。ESCAPE キーを押すと、mbox ビューアが終了します。

-EXPORT_EML=y|n – mbox アーカイブから生成される eml ファイルの自動エクスポートを有効または無効にします。「n」に設定すると、メールのトラバースパフォーマンスが向上します。この設定は複数回実行してもレジストリに保持されます。

-PROGRESS_BAR_DELAY=秒 – 検索期間が PROGRESS_BAR_DELAY に設定された値よりも長く続いた場合、検索プログレスバーがアクティブになります。-1 に設定すると、プログレスバーは無効になります。デフォルト値は 1 秒です。この値は複数回実行されてもレジストリに保持されます。

-MBOX_MERGE_LIST_FILE=listFile Name および **-MBOX_MERGE_TO_FILE=mergedFile Name** コマンドラインオプションを使用すると、listFile Name にリストされた mbox ファイルの内容を結合できます。結合された mbox ファイルは自動的に mbox ビューアで開きます。

必要に応じて、必要なコマンドライン オプションを直接入力する代わりに、便宜上、単純な .cmd ファイルまたは .bat ファイルを作成し、エクスプローラーから実行することもできます。

10.2 GUI からオプションを設定する

その **EXPORT_EML** および **PROGRESS_BAR_DELAY** の値は、GUI からいつでもオンザフライで変更できます。

「ファイル」をクリックしてドロップダウンメニューを開き、「オプション」オプションを選択します。以下のダイアログが表示されます。必要な値を設定し、「OK」ボタンをクリックします。

EML ファイルのエクスポートが無効になっている場合でも、「表示」ドロップメニューの「EML を表示」を選択すると、選択したメールの EML ファイルをエクスポートできます。

「文字セットを表示」と「ヘッダーフィールドの文字セットを設定」の 2 つのオプションは、メッセージウィンドウにヘッダーフィールドを正しく表示するのに役立ちます。10.31.1.1 詳細については、こちらをご覧ください。

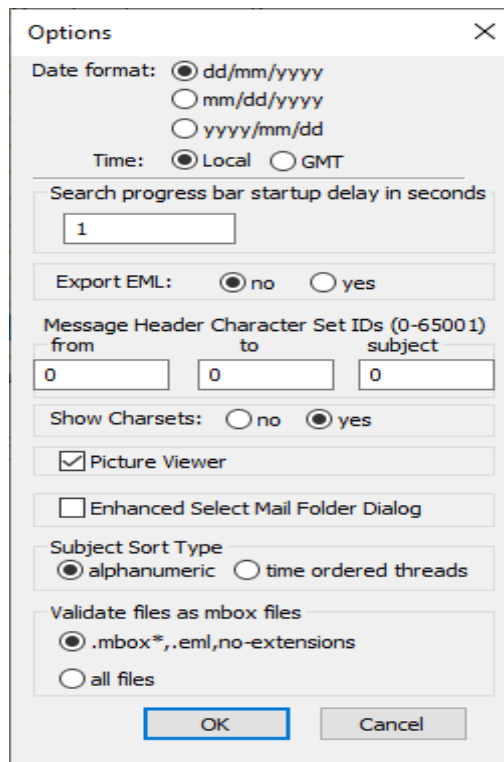
「画像ビューア」チェックボックスは、画像添付ファイルをプレビューするためのダイアログオプションを有効/無効にします。10.25 詳細については、こちらをご覧ください。

「拡張メールフォルダ選択ダイアログ」は「フォルダ選択」オプションの別バージョンで、メールアーカイブがフォルダ内にあるかどうかを確認できます。メールアーカイブを含むフォルダを選択するには、メールファイルを選択する必要があります。

「時間」オプションを使用すると、時間をローカルまたは GMT として表示できます。

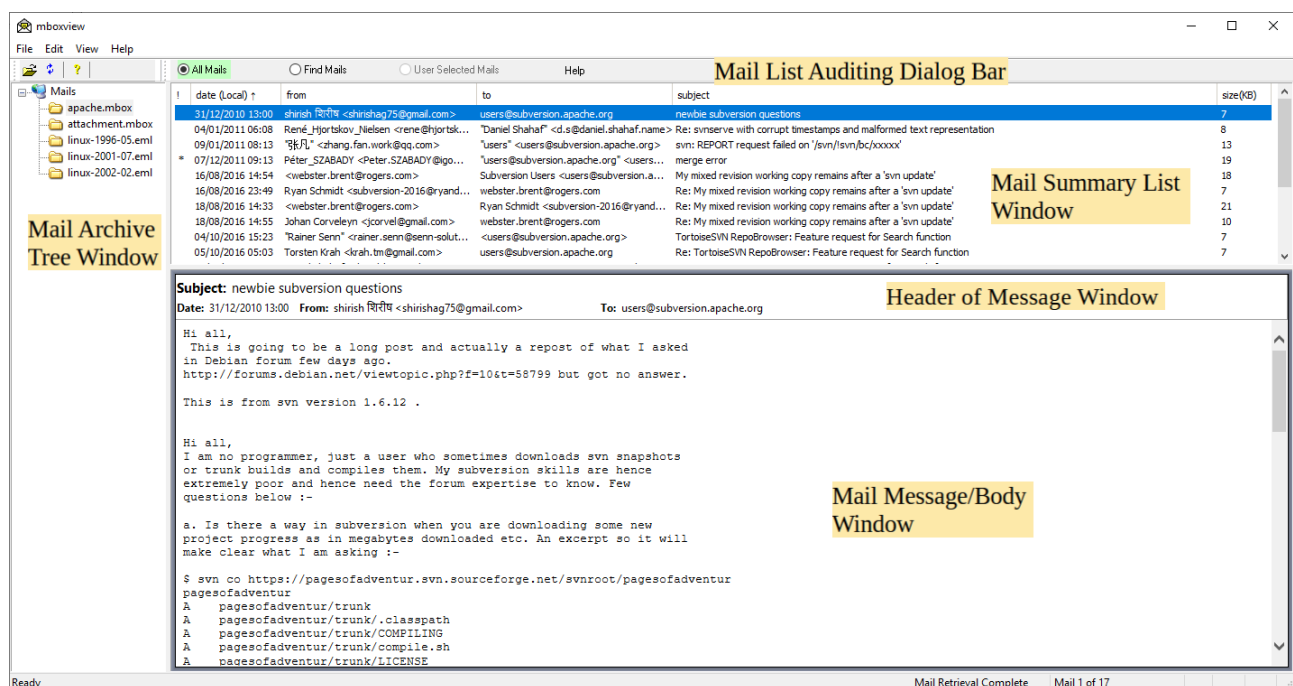
「件名ソートタイプ」オプションは、s のときに件名スレッドを作成します件名順で並べ替え。各件名のスレッド内のメールは時間順に並べ替えられます。デフォルトでは、件名のスレッドはアルファベット順に並べ替えられます。「ファイル」->「オプション」->「時間順スレッド」オプションを選択すると、件名のスレッドを時間順に並べ替えることができます。

「ファイルを mbox ファイルとして検証」オプションを使用すると、mbox ファイルとして検証するファイルを制御できます。検証はファイルのコンテンツに基づいて行われます。

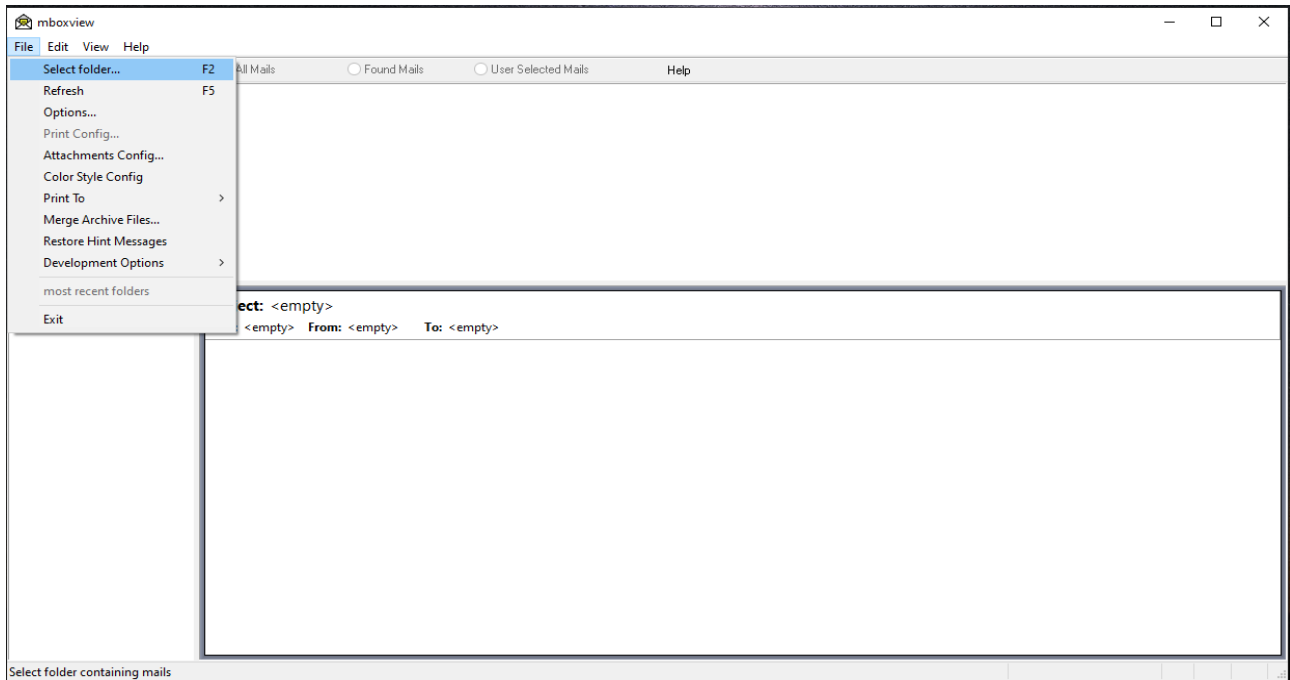


10.3 基本的な使用例

mboxview をダブルクリックしてビューアを起動します。下の図は、ユーザーがいくつかの手順を実行した後に mboxview によって作成された画面です。起動後、メールアーカイブツリー、概要、およびメッセージウィンドウは最初は空白です。メールアーカイブを読み込んで内容を表示する手順については、次に説明します。

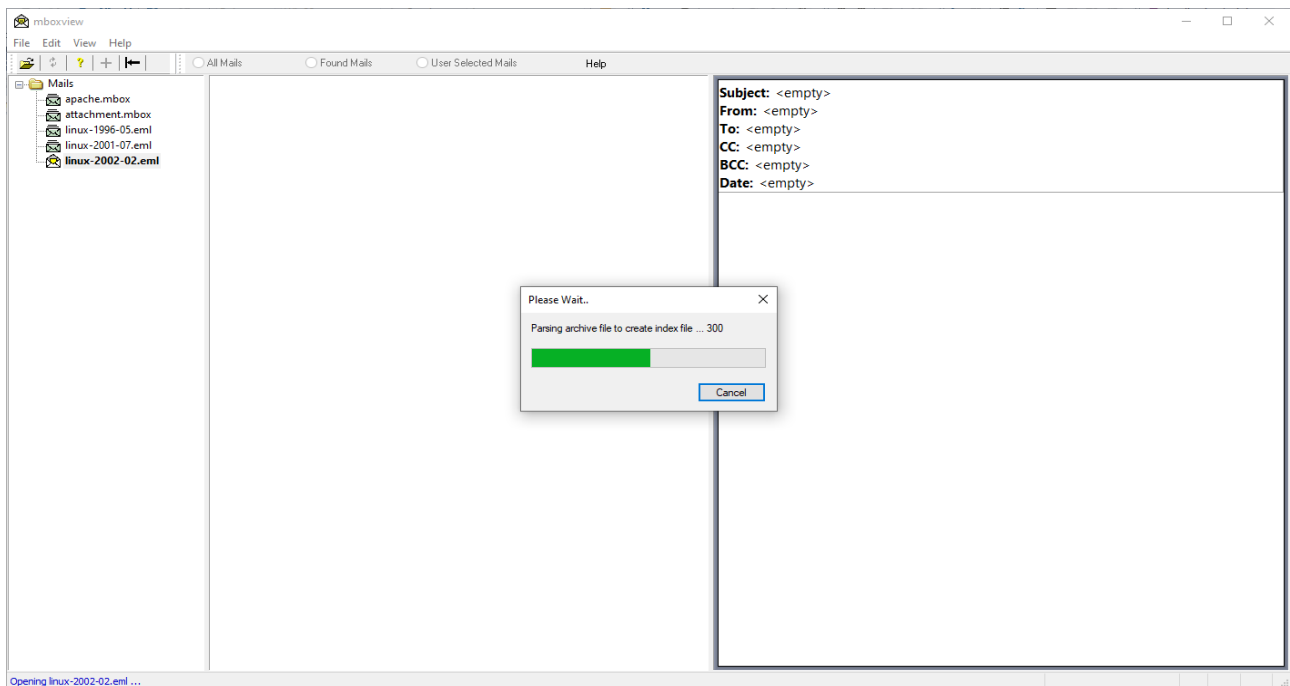


1. 「ファイル」をクリックしてドロップダウンメニューを開き、「フォルダを選択...」オプションを選択します。1つ以上の mbox または eml メールアーカイブファイルを含むフォルダを参照し、選択します。有効なメールアーカイブファイルはすべてメールアーカイブツリーウィンドウに表示されます。「フォルダを選択」ダイアログは、「ファイル」→「オプション」メニューダイアログで設定できます。

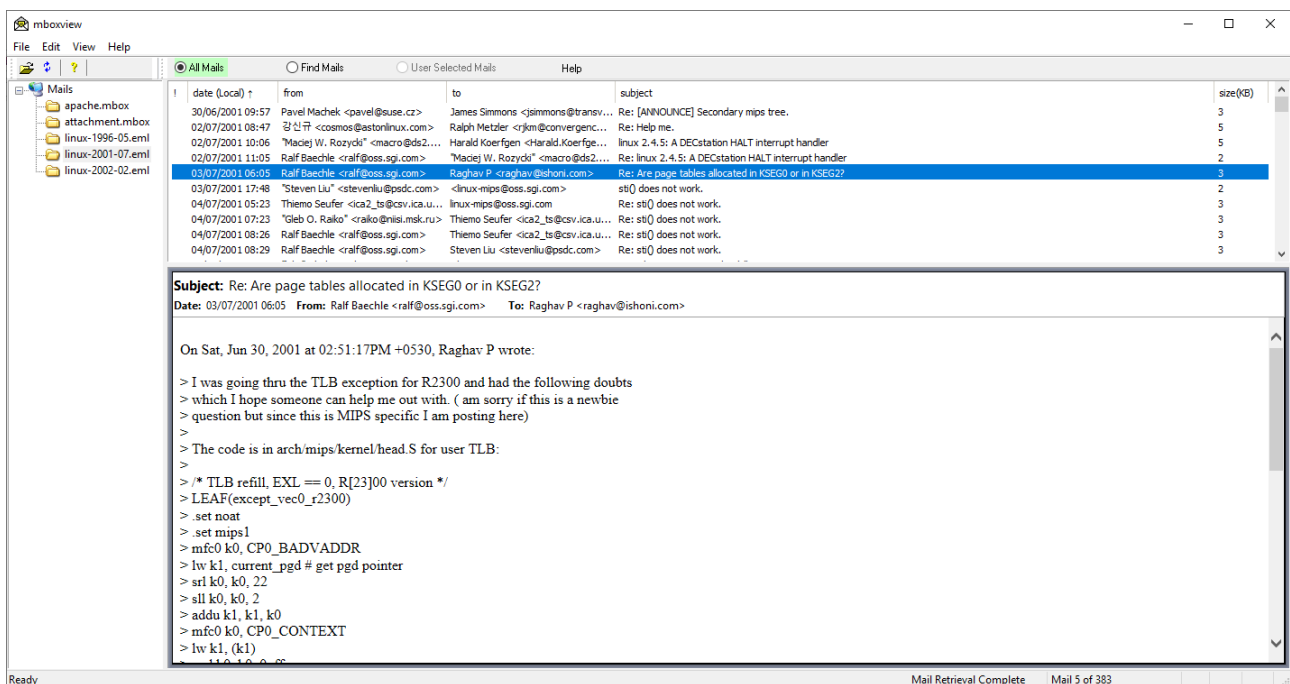


2. アーカイブファイルのいずれかを左クリックすると、そのアーカイブ内のすべてのメールが読み込まれます。プログレスバーが表示され、選択したアーカイブの処理が完了すると自動的に閉じます。各メールのメールヘッダー情報は概要ウィンドウに表示されます。メールアーカイブはテキストファイルであり、すべての文字を1つずつ確認する必要があるため、非常に大きなアーカイブファイルの解析には時間がかかる場合がありますのでご注意ください。

ただし、その後のメールの読み込みは、mboxview がアーカイブファイルの初期解析時に作成したインデックスファイルから行われるため、はるかに高速です。作成されたインデックスファイルには、アーカイブファイル内の各メールのコンテンツメタデータ(メールヘッダー情報とメールファイル内の各メールの位置)が含まれており、メールのメッセージ/本文に素早くアクセスできます。インデックスファイルの拡張子は .mboxview です。

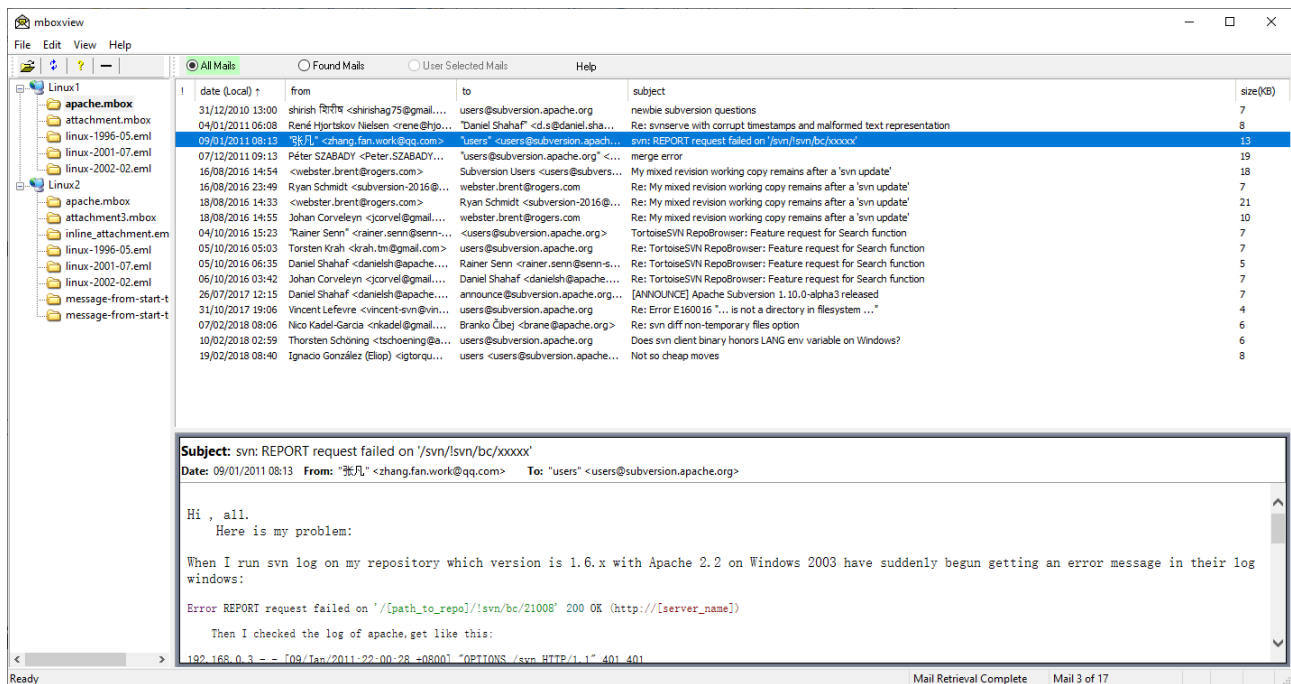


3. 概要ウィンドウでメールを1つ左クリックすると、そのメールのメッセージ/本文がメッセージウィンドウに表示されます。メールの取得状況、アーカイブ内のメールの総数、選択したメールのアーカイブ内での位置がステータスバーに表示されます。セキュリティ強化のため、内部ブラウザではJava、スクリプト、ActiveX コントロールの実行が無効になっているため、ハイパーリンクは外部ブラウザで開くことをお勧めします。



10.4 複数のフォルダのサポート

「ファイル」をクリックしてドロップメニューを開き、「フォルダーを選択...」オプションから新しいメールアーカイブフォルダーを選択するたびに、選択したフォルダーがメールアーカイブツリーの下のフォルダーリストに追加されます。



ツールバーの +/- アイコンを使用して、すべてのフォルダーの下のアークाइブ ファイルのリストを展開/折りたたみます。

リストからフォルダーを削除するには:

1. フォルダを左クリックしてフォルダを選択し、
2. フォルダを右クリックして、「フォルダの削除」メニューオプションを選択します。

選択したフォルダーのリストは、複数回の実行にわたって保持されます。

10.5 フォルダ階層のサポート

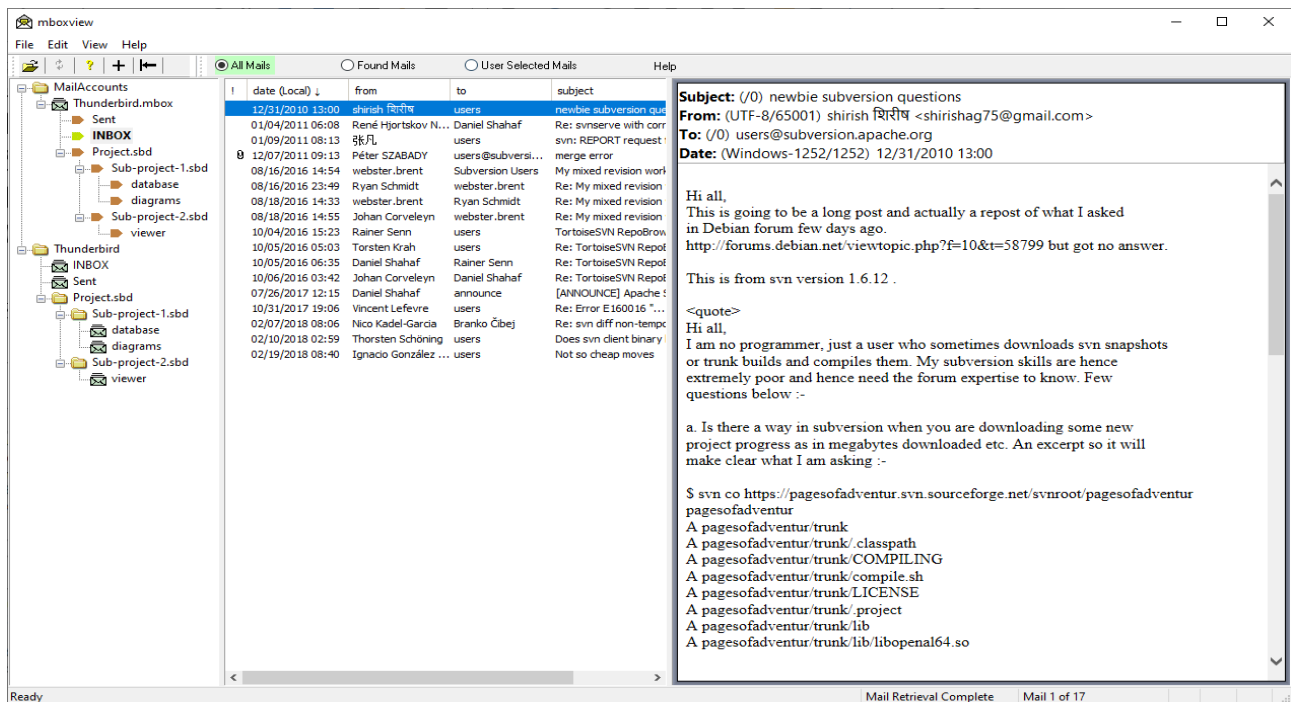
MBox Viewer は、ルートフォルダとすべてのサブフォルダにあるメールファイルを自動的に開くことができます。この機能を使用すると、Thunderbird などのメールクライアントからエクスポートされたメールをより簡単に表示できます。

ユーザーはこの機能を活用するために 2 つのオプションのいずれかを選択できます。

1. 「ファイル→フォルダをルートフォルダとして選択…」オプションを選択します。MBox Viewer はルートフォルダとすべてのサブフォルダをスキャンし、メールツリーの下にフォルダ階層を再作成します。
2. 「ファイル→結合するルートフォルダを選択…」オプションを選択してください。MBox Viewer はルートフォルダとすべてのサブフォルダをスキャンし、検出されたすべての mbox ファイルを結合し、Gmail スタイルのラベルに従ってフォルダ構造を再構築します。重複したメールは削除されます。

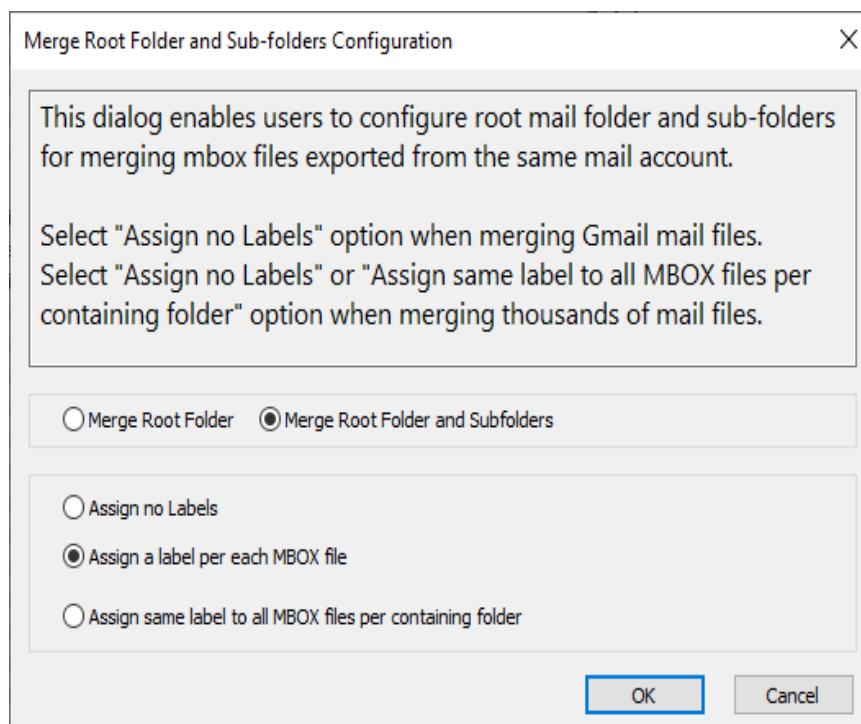
オプション 2 (マージ) では、検出されたすべてのメール アークाइブを検索できますが、オプション 1 では各メール ファイル内のみを検索できます。

スクリーン スナップショットは、同じ Thunderbird フォルダーに適用された場合の両方のケースを示しています。



10.5.1 マージ構成ダイアログのルートフォルダを選択

「マージするルートフォルダを選択...」オプションを選択すると、以下のダイアログが表示されます。フォルダ階層と Gmail スタイルのラベルのサポートに加えて、mbox ファイルまたは eml ファイルのマージに役立つその他のオプションもサポートされています。

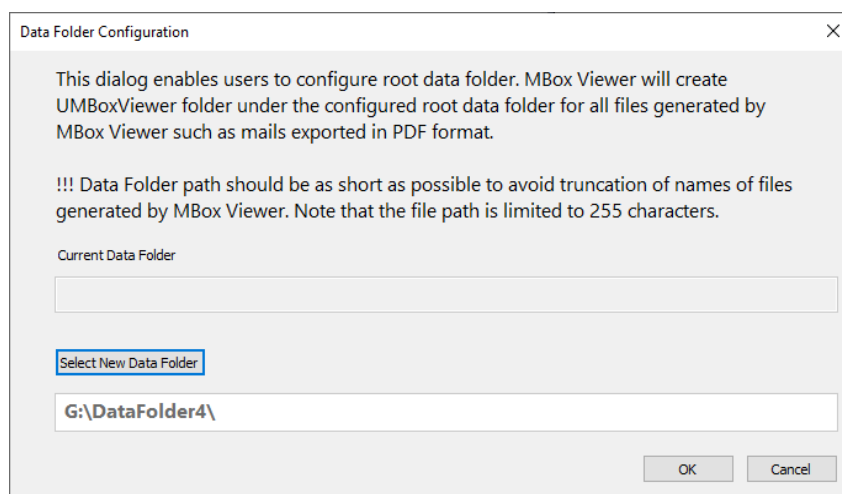


10.6 データフォルダの構成

MBox Viewer は、「印刷先...」、「すべてのメールを Eml としてエクスポート...」などのオプションを実行す

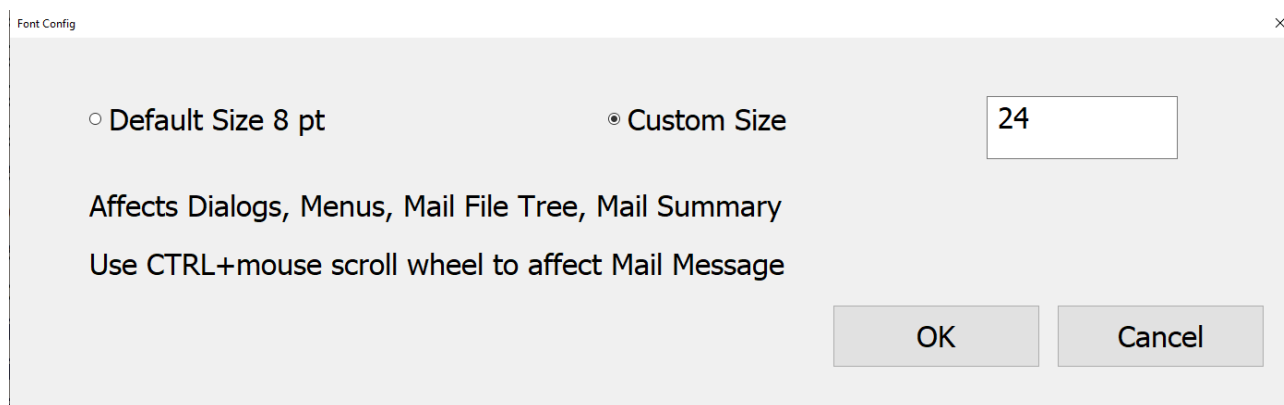
ると、ファイルを生成し、ユーザーが選択したデータ フォルダに保存します。

ユーザーは、「ファイル -> データ フォルダ構成」ダイアログを選択してデータ フォルダを選択できます。



10.7 テキストフォントサイズの設定

デフォルトでは、すべての GUI 要素のシステムフォントサイズは 8 ポイントです。ユーザーは「ファイル→フォント設定」ダイアログから新しいフォントサイズを設定できます。

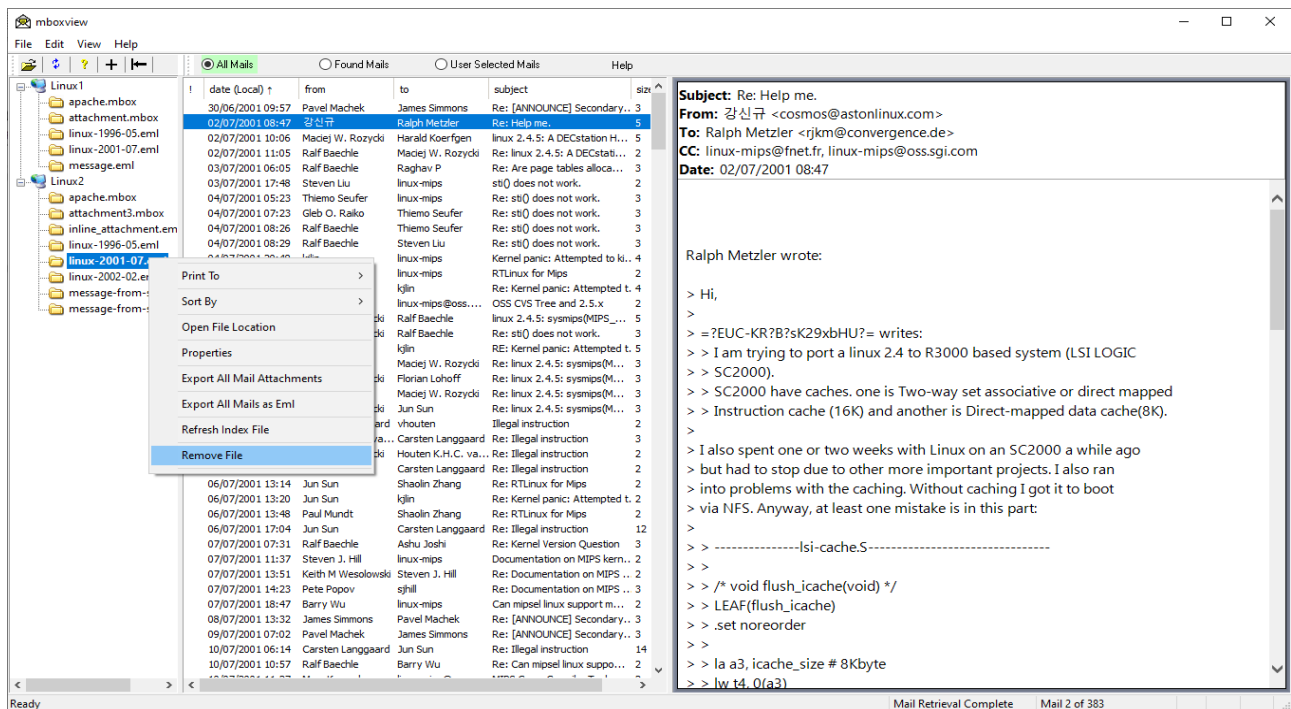


10.7.1 制限事項

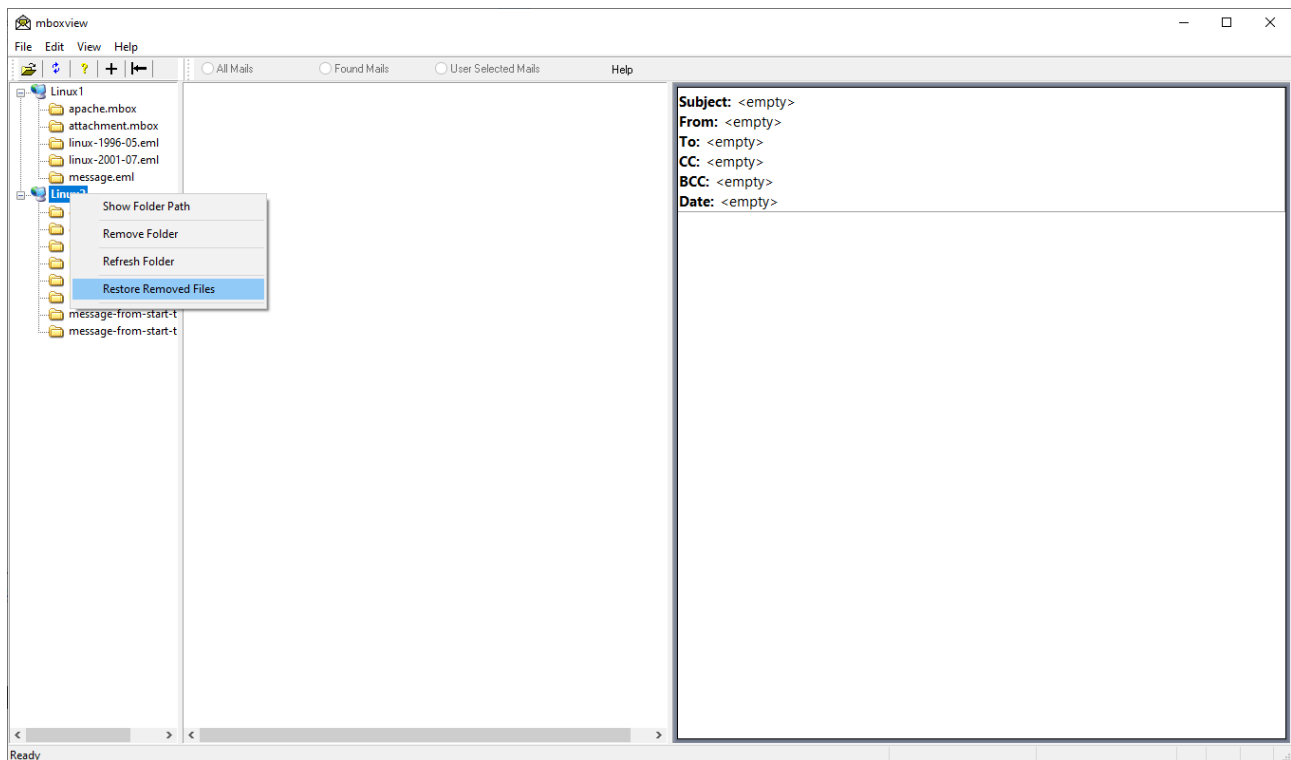
1. すべてのタイトルウィンドウ（ダイアログ、メインフレームなど）のフォントサイズは影響を受けません。
2. メインメニューバーのフォントサイズは 12 ポイントに固定されています。
3. ステータスバーのフォントサイズは影響を受けません
4. メッセージテキストは影響を受けません。Ctrl+マウスホイールでフォントサイズを変更できます。

10.8 メールアーカイブツリーウィンドウでの Mbox ファイルの非表示と復元

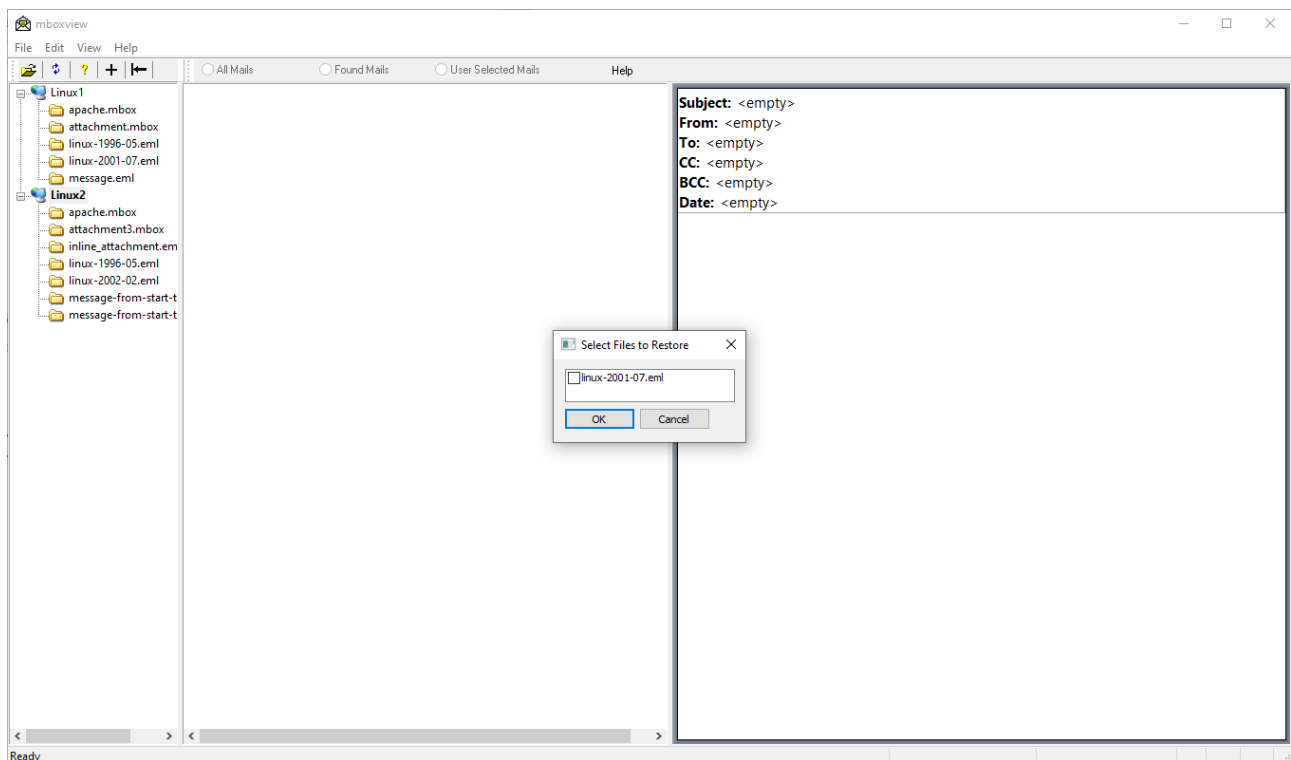
ユーザーは、これらのファイル进行操作していない場合は一時的に非表示にし、必要に応じて後で非表示に戻すことができます。mbox ファイルを非表示にするには、ファイルを右クリックし、「ファイルの削除」オプションを選択します。



非表示のウィンドウを復元するには、フォルダーを左クリックしてフォルダーを選択し、フォルダーを右クリックして「削除されたフォルダーの復元」オプションを選択します。

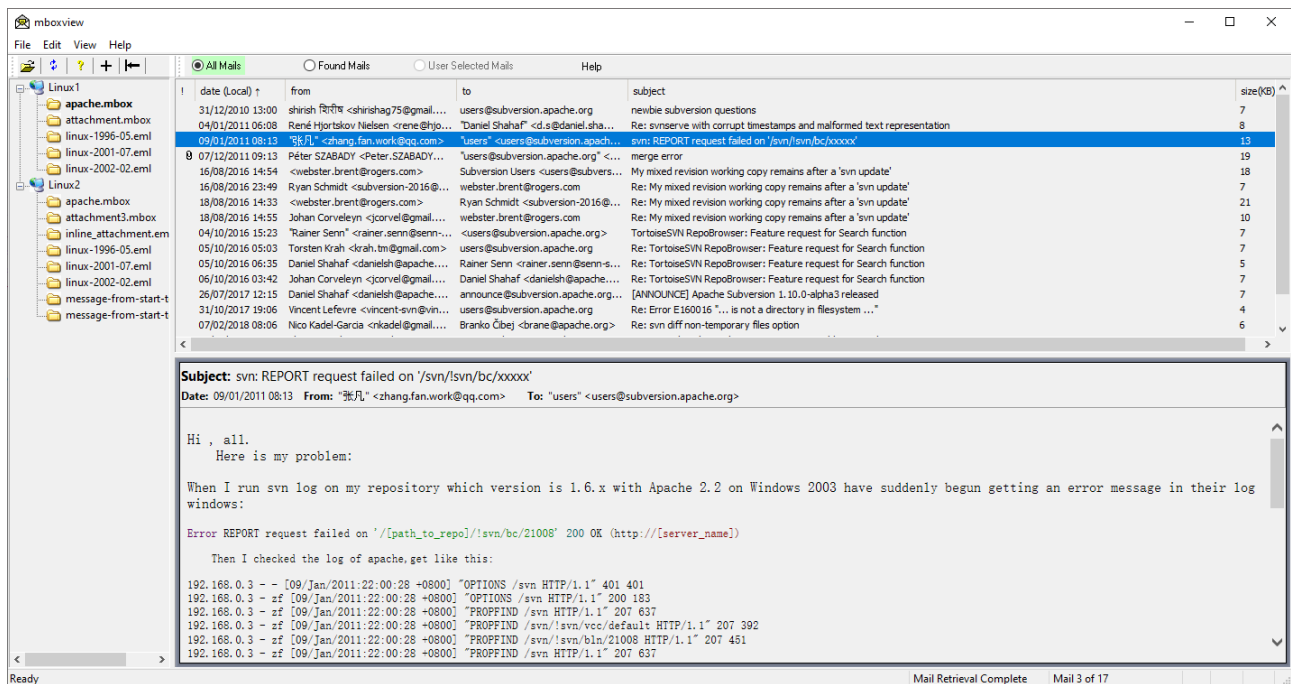


「復元するファイルの選択」ダイアログで復元するファイルをチェックします。



10.9 メールアーカイブツリーウィンドウの非表示

メールアーカイブツリーウィンドウを非表示にして、メールサマリーウィンドウとメールメッセージウィンドウを大きく表示できます。ツリーウィンドウの表示/非表示を切り替えるには、ボタン \leftarrow または \rightarrow を選択します。ツリーウィンドウは、mbox メールファイルのいずれかが選択されている場合にのみ非表示になります。



10.10 メールアーカイブファイルを開くためのデフォルトのアプリケーションとして MBox Viewer を設定する

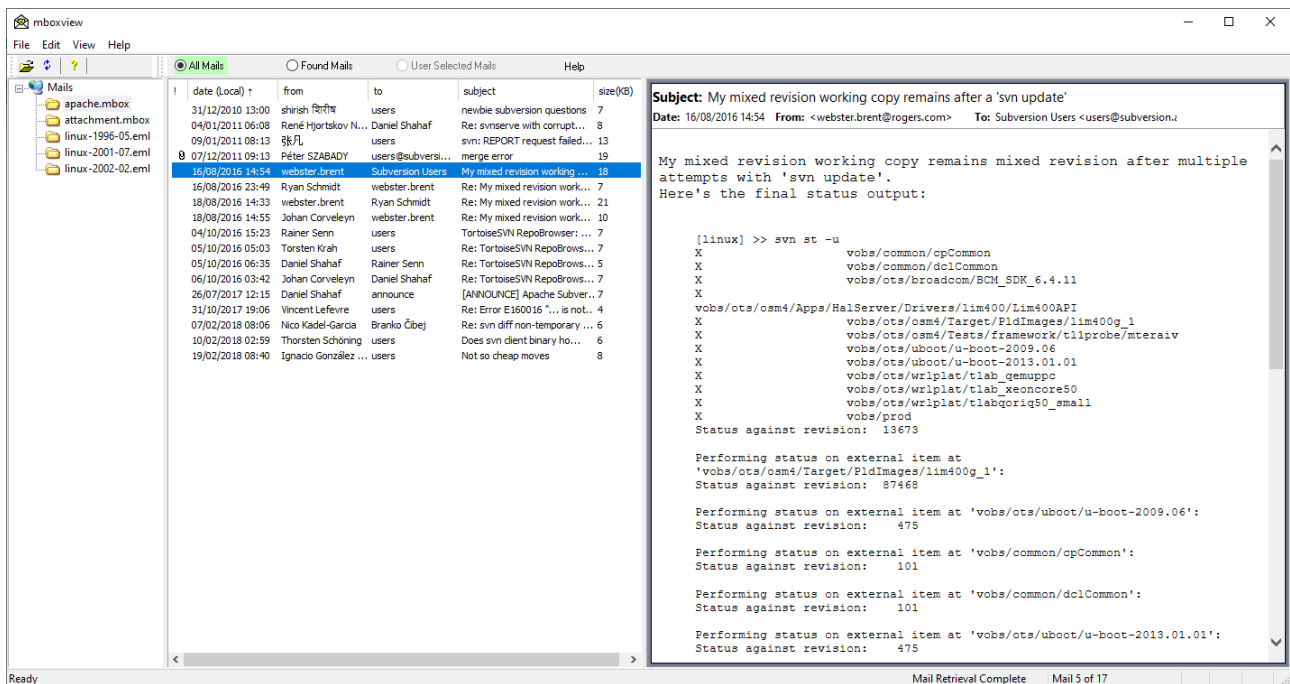
MBox Viewer は、メールファイルをダブルクリックすることで開くデフォルトのアプリケーションとして設定できます。MBox Viewer をデフォルトのアプリケーションに設定する方法は複数あります。デフォルトでは、メールファイルをダブルクリックすると、Windows はデフォルトのアプリケーションが設定されていないことを前提として、メールファイルを開くプログラムを選択するようにユーザーに求めます。「常にこのアプリで開く」オプションが設定されていることを確認してください。現在の割り当てをやり直すには、ファイルを右クリックし、「プログラムから開く」オプションを選択します。

10.11 メッセージウィンドウの位置

メッセージウィンドウの位置は、「表示」→「メッセージウィンドウ」オプションで下、右、左に設定できます。新しい位置を設定した後、変更を有効にするには mbox ビューアを再起動する必要があります。

位置を右または左に設定すると、メール アドレスの形式が変更され、メール名のみが表示されるか、名前がない場合はメール アドレスが表示されます。

デフォルトでは、メッセージ ウィンドウの位置は下部に設定されています。

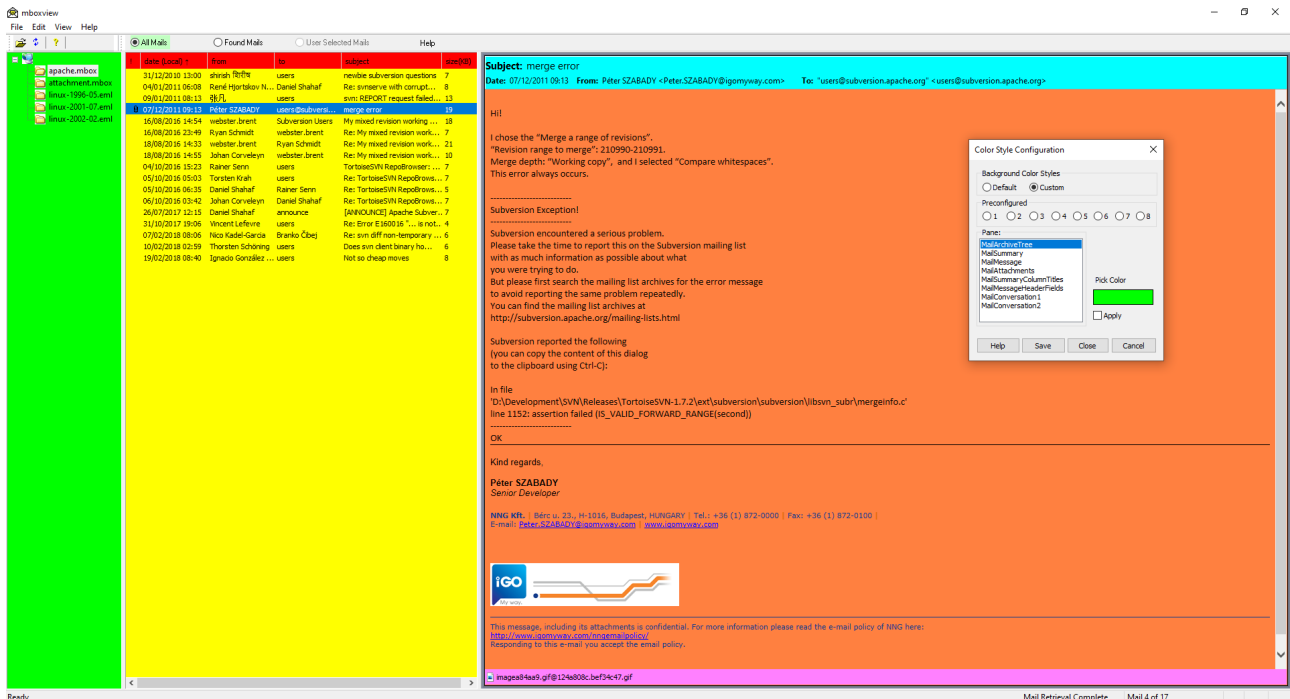


10.12 ウィンドウの配置の維持

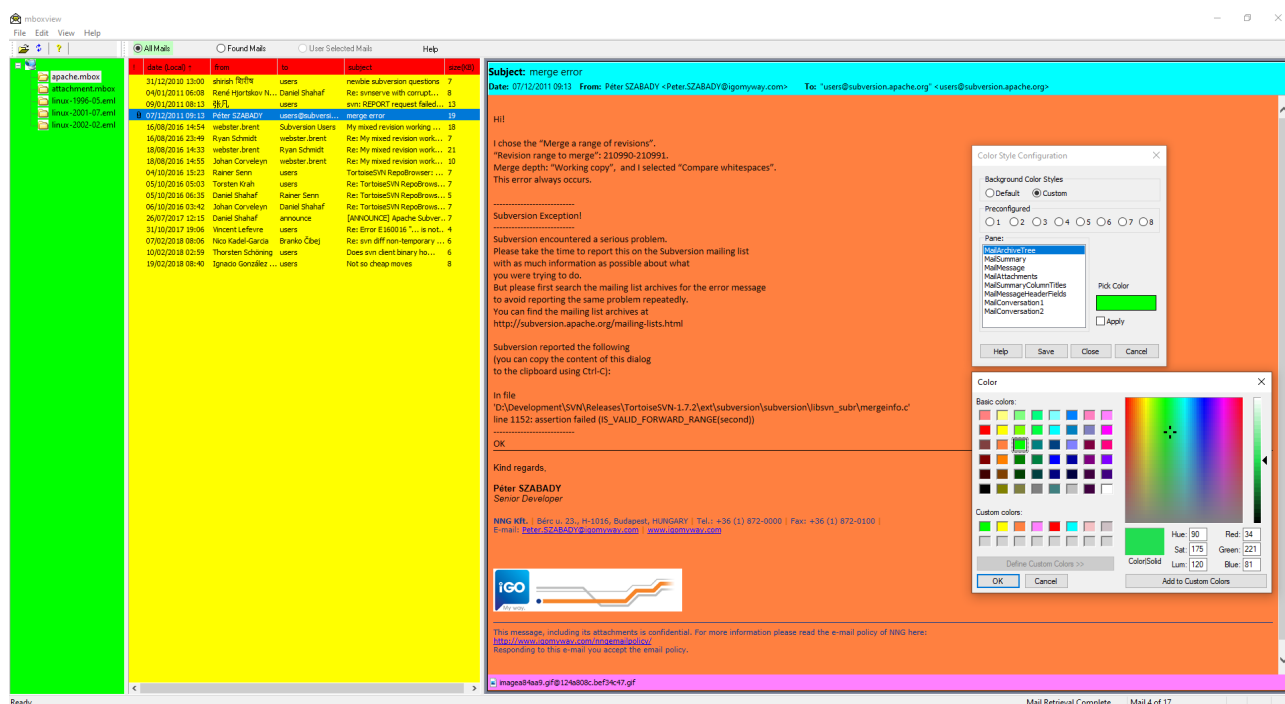
Mbox Viewer は終了時にウィンドウの配置を保存し、次回実行時に復元します。

10.13 背景色スタイルのカスタマイズ

デフォルトでは、すべての表示ペインの背景色は白色に設定されています。表示ペインの色をカスタマイズするには、「ファイル→カラースタイル設定」メニューオプションを選択してください。「カスタム」ボタンを左クリックするとカスタマイズが開始されます。以下のような画面が表示されます。



いずれかのペインを選択し、「色を選択」ボタンを左クリックして、「色選択ダイアログ」を起動します。



「色を選択」ボタンが、作成したカスタムカラーで塗りつぶされます。「適用」ボタンを左クリックすると、選択したペインに新しい色が適用されます。変更をキャンセルするには、「適用」ボタンをもう一度左クリックしま

す。

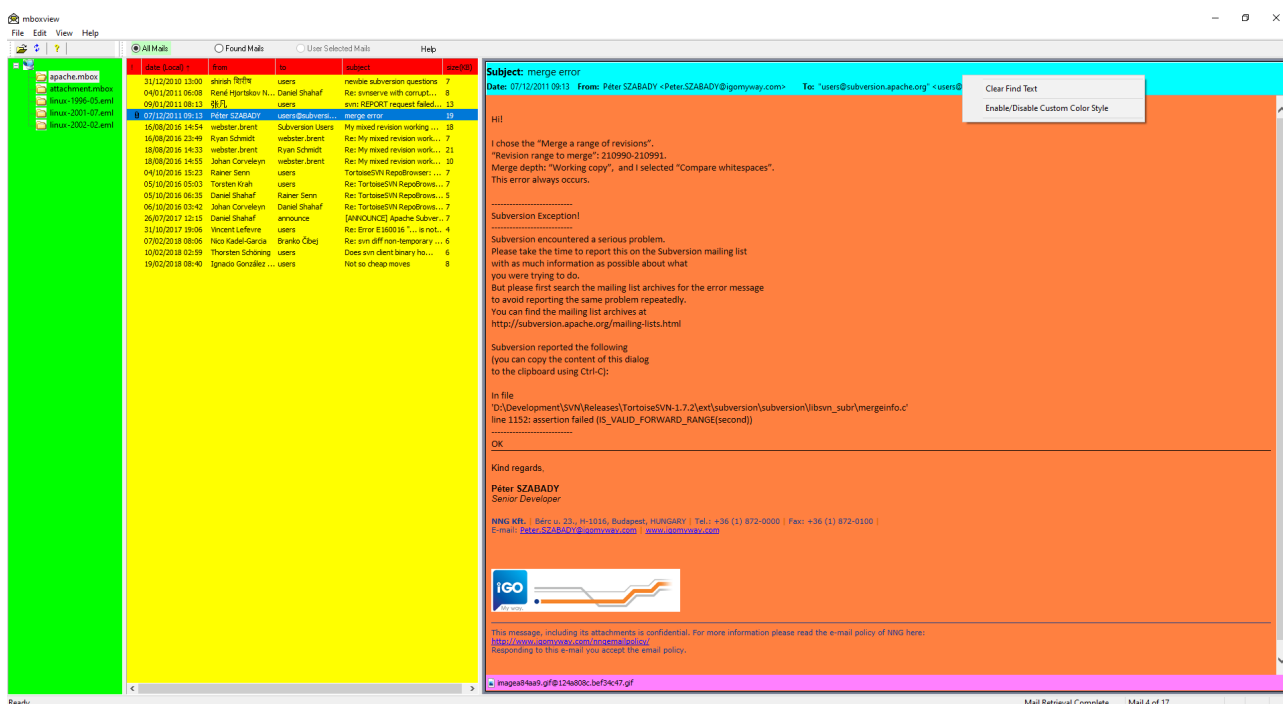
mbox ビューアのシャットダウン後も変更内容を維持するには、「保存」ボタンを左クリックして変更を保存します。または、まずすべてのペインの色をカスタマイズしてから、「保存」ボタンを左クリックしてすべての変更を保存します。

最後に保存または起動してから行われたすべての変更を破棄するには、[キャンセル] ボタンを左クリックします。

「色の選択ダイアログ」を非表示にするには、閉じるボタンまたは Windows 標準の閉じるボタンを左クリックします。それまでに行った変更は破棄されません。

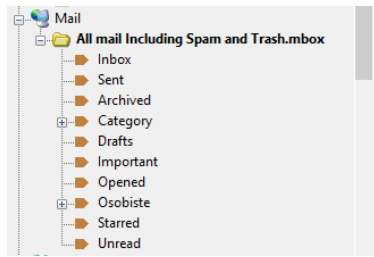
再度開くには、[ファイル] -> [カラー スタイル設定] メニュー オプションを選択します。

注記保存したカラースタイルはすべてのメールに適用されます。アクティブなメールのカスタムカラースタイルを一時的に無効にするには、メールメッセージウィンドウのメールヘッダーを右クリックし、「カスタムカラースタイルの有効化/無効化」メニューオプションを選択します。



10.14 Gmail ラベルのサポート

Gmail mbox メールアーカイブで Gmail ラベルを再作成するには、別の手順を実行できます。Gmail ラベル情報は、Gmail からダウンロードしたすべてのメールに含まれています。ラベルを再作成するには、ツリーペインでアクティブな Gmail メールアーカイブを右クリックし、「Gmail ラベル → 作成」オプションを選択します。これにより、下の例のようにフォルダが作成されます。フォルダアイコンを左クリックすると、ラベル内のすべてのメールが表示されます。



フォルダアイコンを選択すると、すべてのメールを再度表示できます。ラベルが選択されている場合、「すべてのメール」および「見つかったメール」ボタンは、そのラベルに限定されます。「ユーザーが選択したメール」の内容は、アクティブフォルダとフォルダ内のすべてのラベルで共有されます。

10.14.1 制限事項

「ファイルの削除」オプションを使用してツリー パネルからフォルダを非表示/削除し、後で「削除したファイルの復元」オプションを使用して復元する場合、Gmail ラベルはラベルを再作成するまで自動的に復元されません。

10.15 メッセージヘッダーフィールドリストを展開

メッセージウィンドウの位置を下部に設定した場合、メッセージヘッダーリストに CC と BCC のメッセージヘッダーフィールドが表示されません。これは、「表示」→「メッセージヘッダーペインのレイアウト」→「拡張」オプションで変更できます。

10.16 生のメッセージヘッダーの表示

「表示 → 生のメッセージヘッダーを表示」オプションを設定することで、メッセージウィンドウで生のメッセージヘッダーを表示できます。これはグローバルな変更であり、メッセージの内容を表示するには無効にする必要があります。生のメッセージヘッダーは、メッセージヘッダーペインを右クリックし、「生のメッセージヘッダーを表示」オプションを設定することで表示できます。この設定は、新しいメールを選択した場合には保持されません。

10.17 HTML/PDF メールヘッダーのカスタマイズ

HTML/PDF ヘッダー設定ダイアログでは、出力するメールヘッダーフィールドを選択し、フィールド名とフィールドテキストのフォントを設定できます。また、すべての添付ファイルのリストを出力するように設定することもできます。カスタマイズダイアログは、「ファイル」→「印刷設定」→「HTML/PDF ヘッダー設定」ボタンから選択できます。

フォントを構成するオプションには、「デフォルト」と「カスタム」の 2 つがあります。

デフォルト オプションでは以下を設定できます。

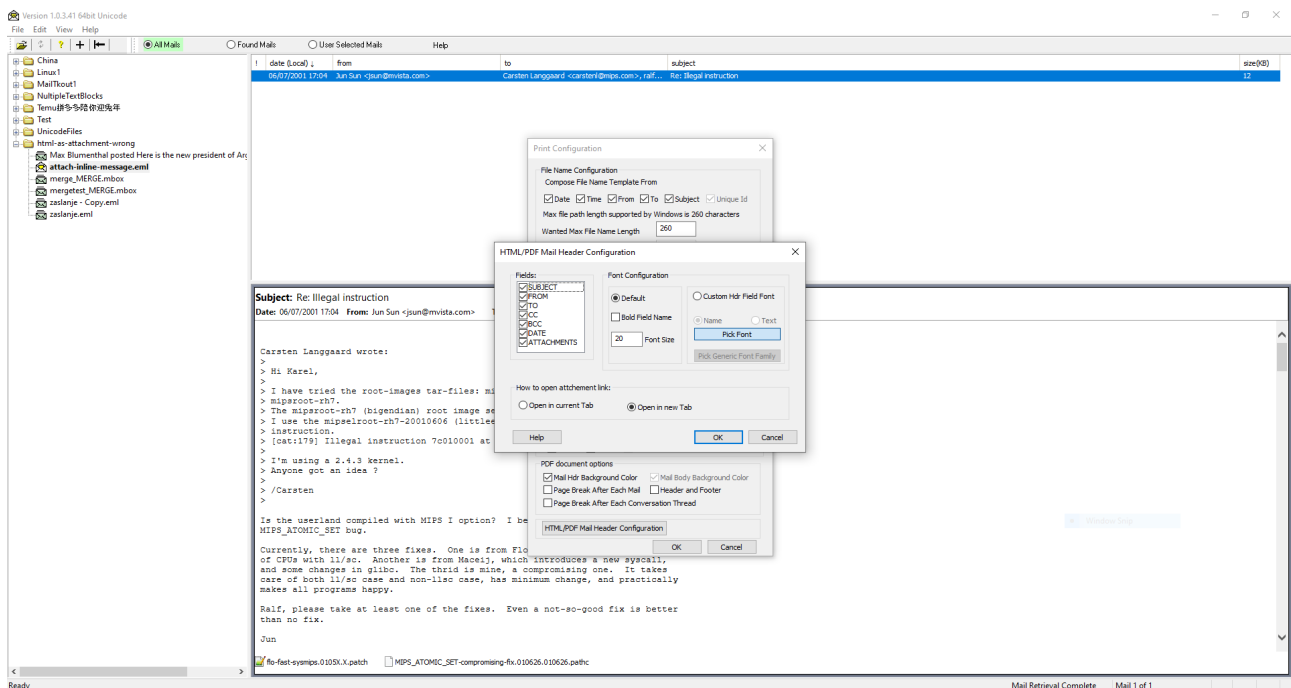
1. フィールド名とテキストの両方に適用されるフォント サイズ。
2. フィールド名にのみ適用される太字フォント スタイル。

カスタム オプションでは以下を設定できます。

1. ヘッダー フィールド名とテキストに同じフォントまたは異なるフォントを使用します。
2. フォント ダイアログでは、フォント名、スタイル、サイズを設定できます。
3. フォント ダイアログで設定されたプライマリ フォントに加えて、汎用ファミリー フォントも表示されます。

次のリンクには、HTML フォントに関する役立つ情報が記載されています。

[HTML フォント
フォントと書式](#)



ユーザーは、Web ブラウザーでドキュメント/添付ファイルのリンクを開く方法も設定できます。

10.18 単一メールのコンテキストメニュー

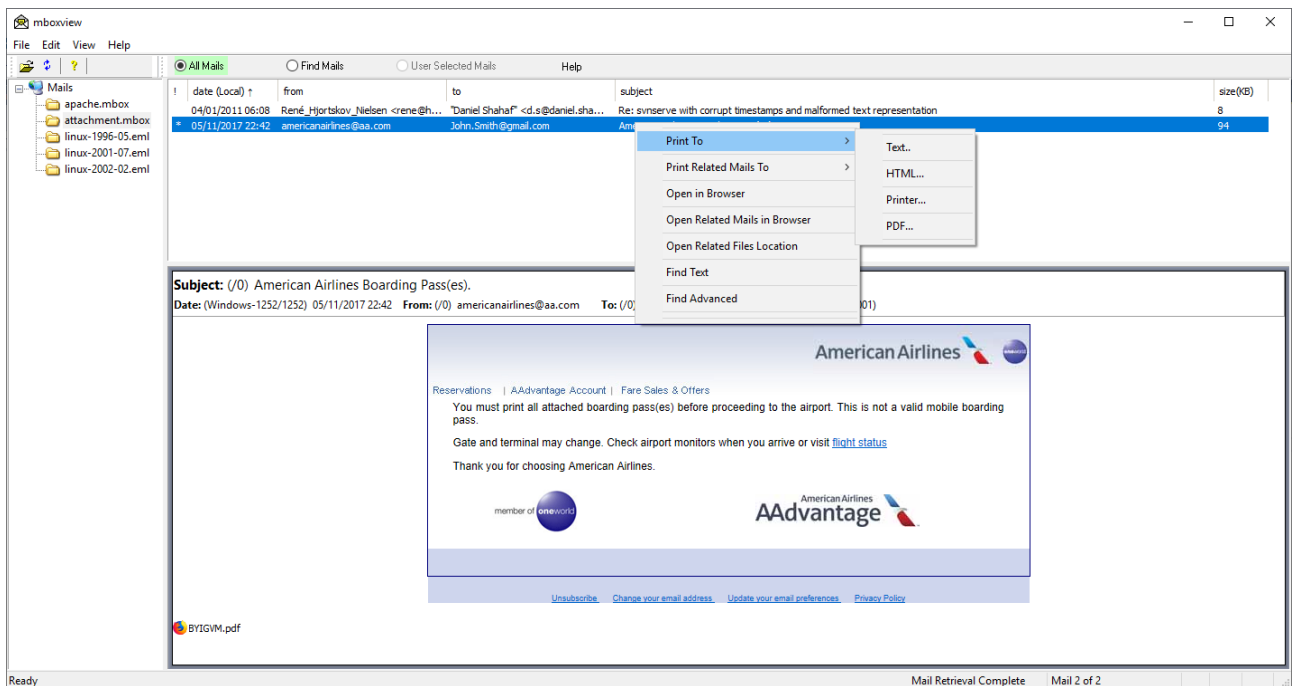
概要ウィンドウで選択したメールを右クリックすると、以下に示すようにコンテキストメニューが開きます。

「印刷先」コンテキストメニューを使用すると、選択したメールをテキスト、HTML、または PDF ファイルに印刷したり、ユーザーが選択した PDF プリンタに送信したりできます。

「ブラウザで開く」メニュー オプションを使用すると、選択したメールが外部のデフォルトの Web ブラウザで開きます。

「テキスト検索」オプションを使用すると、ユーザーが指定したテキストを検索し、メッセージ ウィンドウ内のすべての出現箇所を強調表示できます。

「詳細検索」オプションを選択すると、詳細検索ダイアログが起動し、メールの送信元、宛先、件名の各フィールドにデータが事前に入力されます。



10.18.1 ファイル名

ユーザーは、「ファイル」→「印刷設定」ダイアログを選択して、メールを印刷する際に適用するファイル名のパターン／テンプレートを設定できます。パターンは、日付、時刻、送信元、宛先、件名、および一意のIDのフィールドで構成されます。件名からは英数字のみが選択され、その他の文字はアンダースコアに置き換えられます。

ファイルは FolderHousingMailArchives/PrintCache/MailArchiveName フォルダーに保存されます。ここで、MailArchiveName は .mbox 拡張子のないアーカイブ ファイル名を示します。

PDF プリンターに印刷する場合、つまり、「印刷先」→「プリンター メール」オプションを選択する場合や、ブラウザからメールを PDF ファイルに印刷する場合は、ユーザーはターゲット ファイル名を手動で入力する必要があります。

印刷設定ダイアログでは、作成するファイル名の最大文字数を設定できます。Windows でサポートされるファイルパスの最大文字数は、非 Unicode アプリケーションの場合 260 文字です。そのため、ファイル名は (260 文字 - FolderHousingMailArchives/PrintCache/MailArchiveName/MailFileName の長さ) のパスに制限されます。ユーザーはファイル名の長さ制限を設定でき、必要に応じて mbox ビューアが設定された長さに調整します。

10.19 複数のメールを選択したコンテキストメニュー

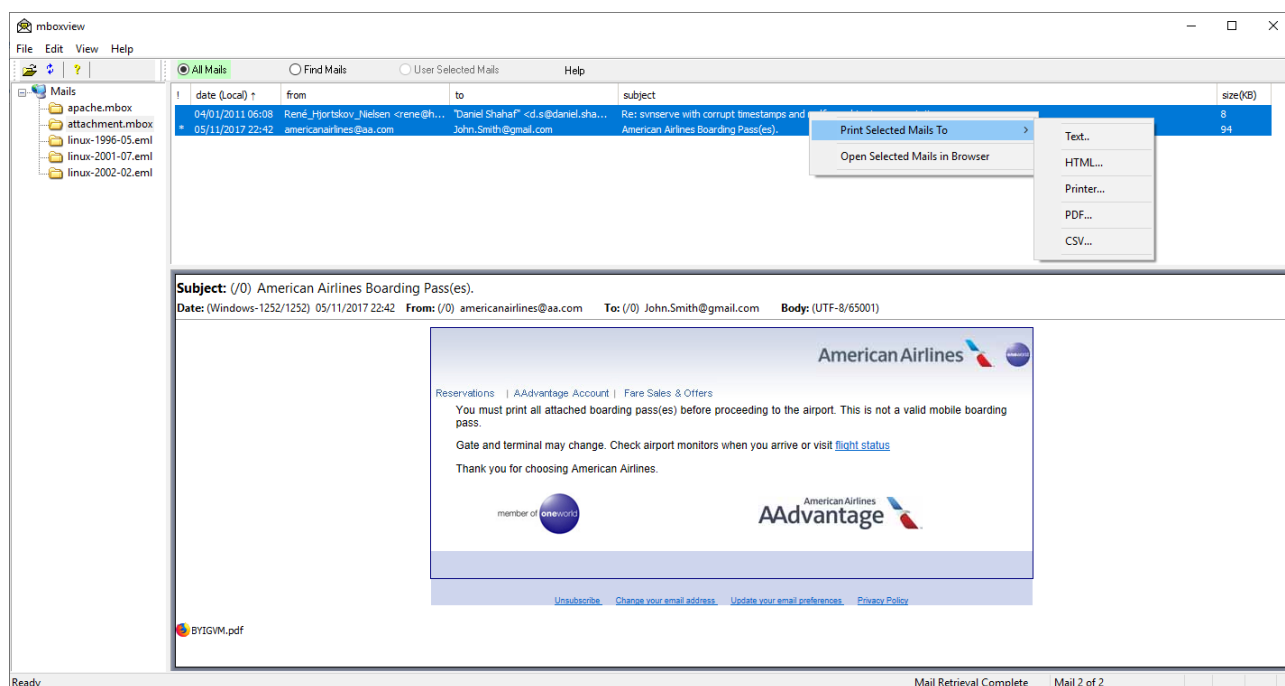
Windows の標準方法、つまり左クリックの後に Shift キーを押しながら左クリック、または CTRL キーを押しながら左クリック、または CTRL キーを押しながら A キーを押す方法を使用して、複数のメールを選択できます。

概要ウィンドウで複数の電子メールを右クリックすると、以下に示すようにコンテキストメニューが開きます。

「選択したメールを印刷」コンテキストメニューオプションを使用すると、選択したメールを単一のテキスト、HTML、CSV、PDF ファイルに印刷したり、ユーザーが選択した PDF プリンターに送信したりできます。

10.33.7 「パワーユーザーによる PDF ファイルへのメール印刷」セクション。

「選択したメールをブラウザで開く」メニュー オプションでは、選択したメールが外部のデフォルトの Web ブラウザで開きます。



10.19.1 ファイル名

複数のメールを 1 つのファイルに印刷する際に、ファイル名のパターン/テンプレートを設定することはできません。ファイル名は、アーカイブファイル名に適切な拡張子 (.txt、.htm、.csv、.pdf など) を付けて自動的に作成されます。

ファイルは FolderHousingMailArchives/PrintCache/MailArchiveName フォルダーに保存されます。ここで、MailArchiveName は mbox 拡張子のないアーカイブ ファイル名を示します。

PDF プリンターに印刷する場合、つまり、「選択したメールを印刷」→「プリンター メール」オプションを選択した場合、またはブラウザからメールを PDF ファイルに印刷する場合は、ユーザーはターゲット ファイル名を手動で入力する必要があります。

10.20 会話メールグループのコンテキストメニュー

コンテキストオプションを処理する前に、すべてのメールを会話ごとに並べ替える必要があります。10.27 セクション。

概要ウィンドウで選択した会話グループ内のメールを右クリックすると、図のようなコンテキストメニューが開きます。10.18 セクション。

「関連メールを印刷」コンテキスト メニュー オプションを使用すると、選択したメール グループ (会話) をテキスト、HTML、CSV、または PDF ファイルに印刷したり、ユーザーが選択した PDF プリンターに送信したりできます。

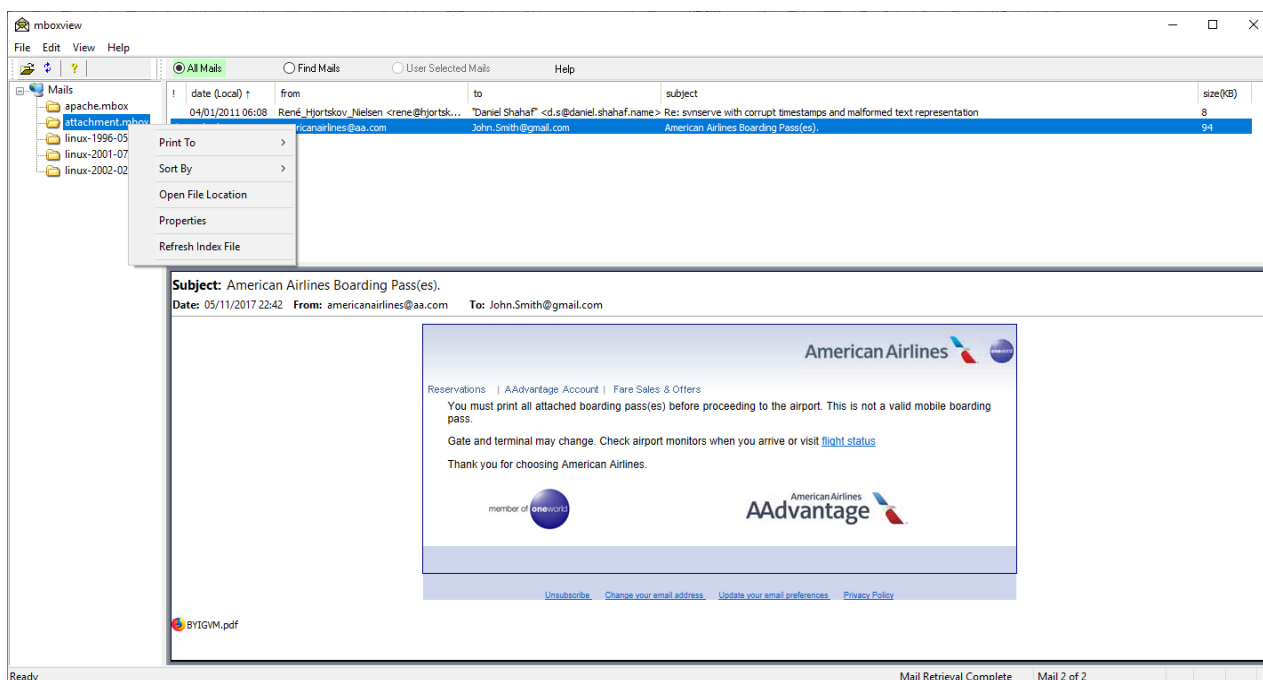
「関連メールをブラウザで開く」メニュー オプションを選択すると、選択したメール グループが外部のデフォルト Web ブラウザで開きます。

10.20.1 ファイル名

見る 10.19.1 セクション。

10.21 メールアーカイブのコンテキストメニュー

メール アーカイブ ツリー ウィンドウの下のアクティブなメール アーカイブを右クリックすると、以下に示すようにコンテキスト メニューが開きます。



コンテキストメニューから、すべてのメールを CSV、テキスト、HTML、PDF ファイルに出力できます。作成されるファイルの名前は、FolderHousingMailArchives/PrintCache/MailArchiveName フォルダ内のアーカイブファイル名 (拡張子.csv、.txt、.html、または.pdf) に基づいて作成されます。MailArchiveName は、mbox 拡張子を除いたアーカイブファイル名です。メールはサマリーウィンドウのソート順に従って印刷されますのでご注意ください。

HTML ファイルのサイズは非常に大きくなる場合があります、ほとんどのブラウザで開くと問題が発生する可能性があります。大きな HTML ファイルの処理に関しては、Microsoft Edge と Google Chrome ブラウザが最も優れたパフォーマンスを発揮するようです。

テキストファイルへの印刷時に、HTML テキストブロックを含みプレーンテキストを含まないメールを処理するため、1.0.2.8 で HTML からテキストへの変換機能が追加されました。変換処理には非常に時間がかかる場合があります、多数の変換が必要な場合、1.0.2.7 と比較して印刷時間が大幅に増加する可能性があります。進行状況を示すプログレスバーが追加されましたが、遅い場合もあります。

単一の PDF ファイルへの印刷は最も時間がかかります。10.33.7 単一の PDF ファイルへの大規模な印刷については、「パワー ユーザーによる PDF ファイルへのメール印刷」セクションを参照してください。

アクティブアーカイブ内のすべてのメールは、サマリーウィンドウで日付、送信元、宛先、件名、サイズ、スレッドで並べ替えることができます。この機能は、サマリーウィンドウで選択した列を左クリックするのと同じで

す。

「プロパティ」オプションでは、アーカイブファイルの場所、サイズ、メール数が表示されます。

「インデックス ファイルの更新」オプションでは、必要に応じてアーカイブ ファイルの新規解析が実行されます。

10.21.1 CSV ファイルへの印刷ダイアログ

ユーザーが選択したメール アーカイブまたは選択したメール セットを CSV ファイルに印刷する場合、エクスポートするフィールド、日付形式、および 2 つのタイム ゾーンのいずれかを選択できます。

コンテンツのエンコーディングを正規化するオプションも利用可能です。デフォルトのエンコーディングは UTF-8 に設定されており、特別な場合を除き変更しないでください。

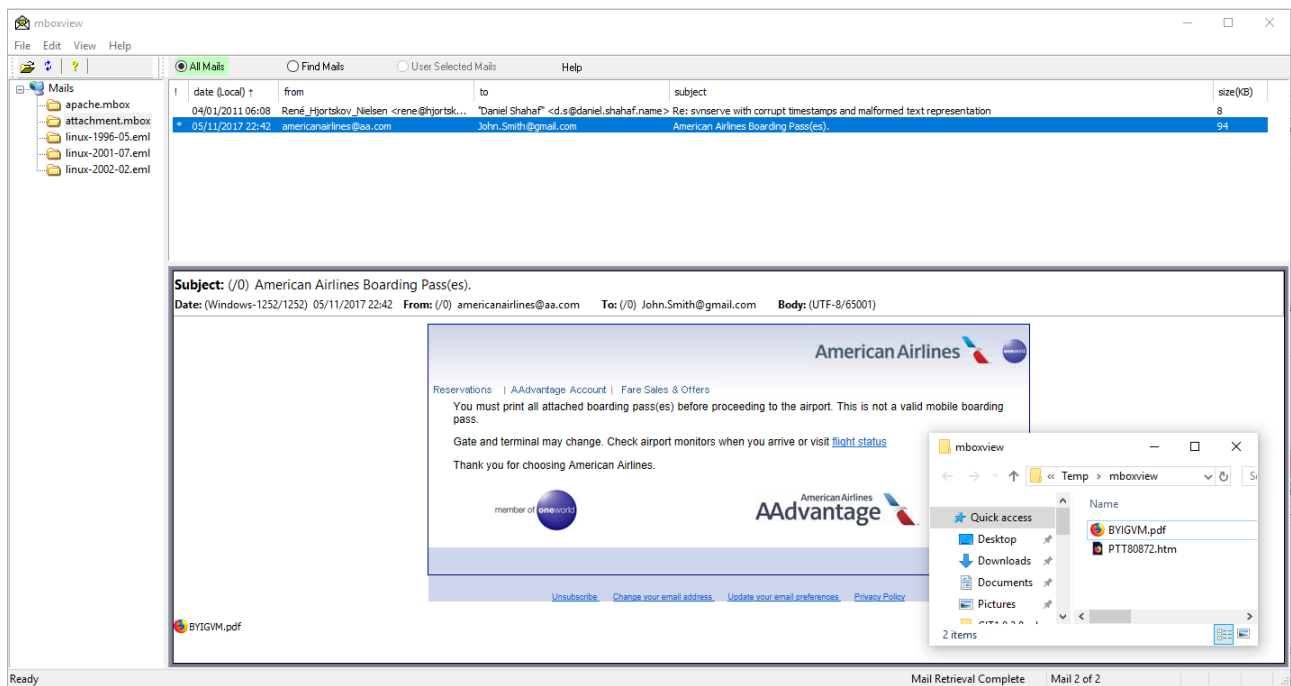
「メッセージを N 文字に制限」の値はデフォルトで 32500 文字に設定されています。これよりも大きな値に設定すると、Excel と LibreOffice はスプレッドシートのセルあたりの文字数制限を超えたというエラーメッセージを表示します。LibreOffice はテキストのオーバーフローを適切に処理しますが、Excel スプレッドシートは破損します。

ユーザーは添付ファイル名を区切る文字列を設定できます。特別な CRLF 文字列は、CSV 出力では `\r\n` 文字列に置き換えられます。

10.22 メールの添付ファイル

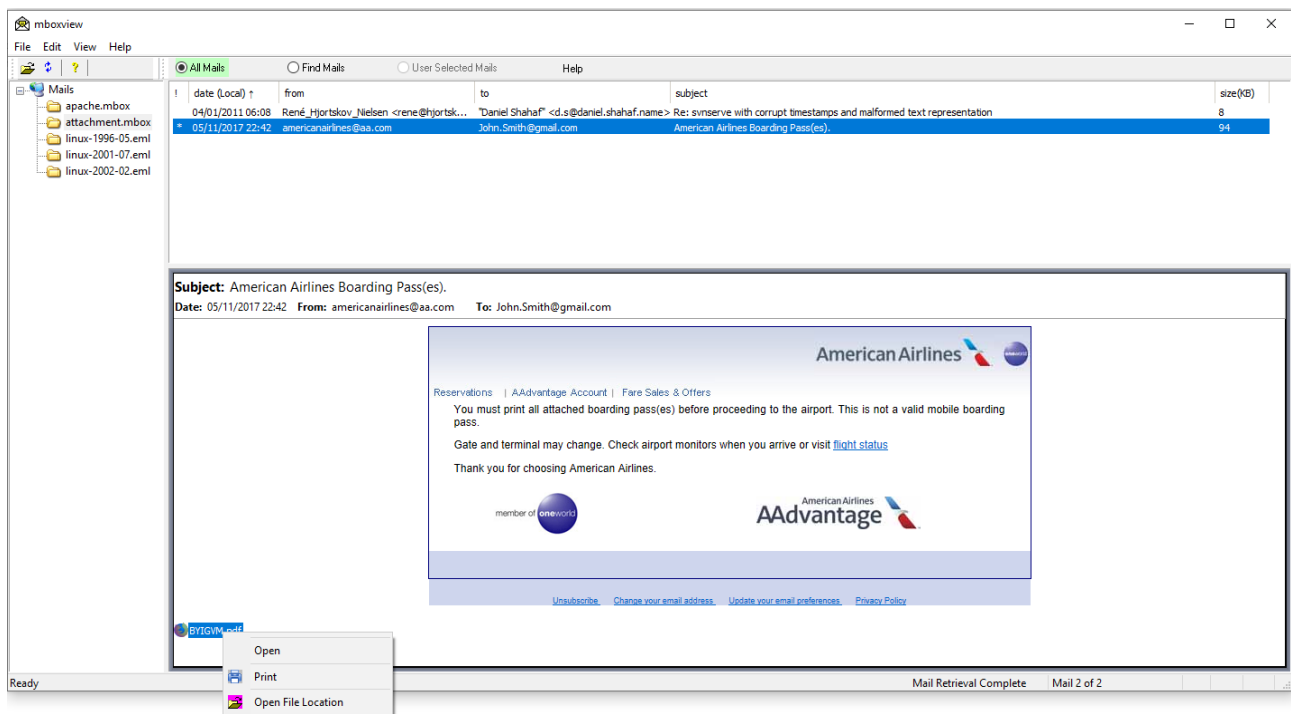
メールの添付ファイルはメッセージウィンドウの下部に表示されます。添付ファイルが存在する場合、メールの最初の列に「*」記号が表示されることがあります。添付ファイルの場所を開くには、概要ウィンドウでメールをダブルクリックするか、「表示」→「EML を表示」メニューオプションを選択してください。メールのすべての添付ファイルを含む一時フォルダが開きます。添付ファイルを表示するには、標準の Windows アプリケーションを使用してください。

添付ファイルは、左ダブルクリックでも表示できます。画像添付ファイルは画像ビューアー（グローバルオプションで設定されている場合）で表示され、その他のファイル形式は関連付けられたデフォルトの Windows アプリケーションで表示されます。



10.22.1 添付ファイルのコンテキストメニュー

選択した添付ファイルを右クリックすると、コンテキストメニューが開きます。コンテキストメニューでは、関連付けられているデフォルトのアプリケーションで添付ファイルを開いたり印刷したりできます。また、添付ファイルが格納されているフォルダを開くこともできます。選択した添付ファイルはフォルダ内でハイライト表示されます。

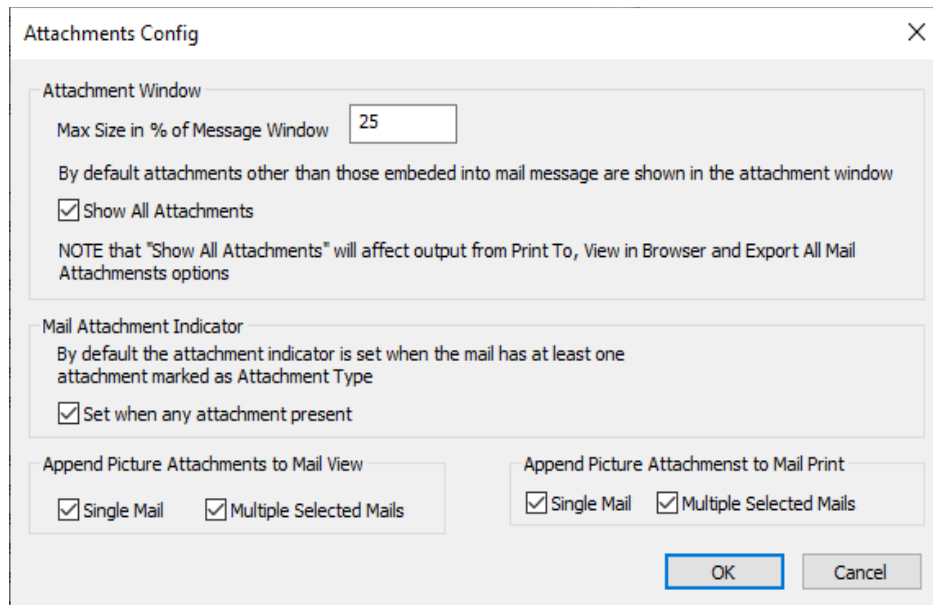


10.22.2 添付ファイルの設定

「添付ファイル設定」ダイアログでは、添付ファイルのウィンドウサイズ、内容、添付ファイルの表示基準を設

定できます。また、メールの表示時や印刷時に画像添付ファイルを追加するかどうかも設定できます。

「ファイル→添付ファイル設定」を選択してダイアログにアクセスします。



10.22.3 すべてのメールのすべての添付ファイルをエクスポートする

アクティブなメールアーカイブを右クリックし、「すべてのメール添付ファイルをエクスポート」オプションを選択することで、すべての添付ファイルを AttachmentCache フォルダにエクスポートできます。添付ファイル名の重複を避けるため、Mbox Viewer は各添付ファイル名に以下のプレフィックスを付加します。

YYYYMMDD-HHMMSS-IDDDDDDD 添付ファイル名

ここで、YYYY は年、MM は月、DD は日、HH は時、MM は分、SS はメールの秒、IDDDDDDD はこの電子メールに割り当てられた一意の ID を示します。

10.23 インライン画像キャッシュ

mboxview は、メール本文/メッセージに直接埋め込まれた画像をサポートするために、インライン画像のキャッシュを作成します。すべての画像を含むキャッシュは、メールアーカイブファイルの初期解析時に作成することも、必要に応じて後で画像のサブセットを作成することもできます。アーカイブファイルごとに、FolderHousingMailArchives/ImageCache フォルダ内に個別のキャッシュサブフォルダが作成されます（少なくとも 1 つのインライン画像が見つかった場合）。何らかの理由でインライン画像キャッシュが見つからない場合は、該当するファイルアーカイブのコンテキストメニュー「インデックスファイルの更新」を選択して、インデックスファイルを更新してください。

10.24 すべてのメールを別の EML ファイルにエクスポート

メールアーカイブのコンテキストメニューから、すべてのメールを個別の EML ファイルにエクスポートできます。選択したメールアーカイブを右クリックし、「すべてのメールを EML としてエクスポート」オプションを選択します。EML ファイルは FolderHousingAllMailArchives/EmlCache/SelectedMailArchiveName フォルダに作成されます。

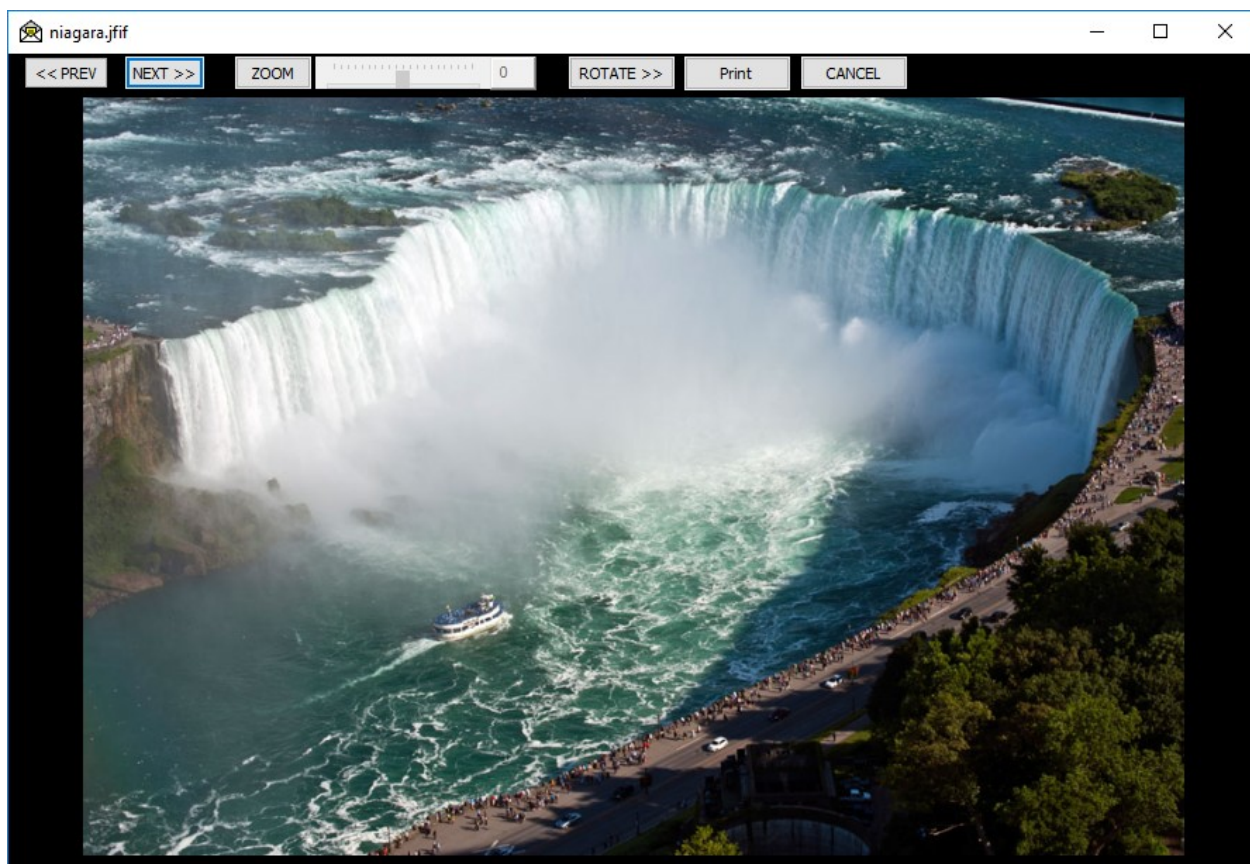
Mbox Viewer は次のように Eml ファイル名を作成します。

YYYYMMDD-HHMMSS-IDDDDDDD 名 ([ファイル] -> [印刷設定] ダイアログの [ファイル名の設定] を使用)。

ここで、YYYY は年、MM は月、DD は日、HH は時、MM は分、SS はメールの秒、IDDDDDDD はこの電子メールに割り当てられた一意の ID を示します。

10.25 画像ビューア

添付ファイルをダブルクリックして画像ビューア ダイアログを起動します (以下に例を示します)。



画像ビューアは、png、jpg、pjpg、jpeg、pjpeg、jpe、gif、bmp、ico、tif、tiff、jfif、emf、wmf、dib サフィックス。

「次へ」と「前へ」のコントロールを使用すると、選択したメールに関連付けられたすべての画像添付ファイルを参照できます。表示する添付ファイルを選択することもできます。その後、すべての画像添付ファイルを参照することもできます。

ROTATE コントロールを使用すると、現在の/表示されている画像を時計回りに回転できます。

ズームコントロールで画像の拡大/縮小ができます。ズームボタンをクリックするとズームの有効/無効を切り替えることができます。右にスライドすると画像が拡大、左にスライドすると縮小します。拡大した画像は、マウスの左ボタンとスクロールボタンを使ってドラッグできます。ズームボタンをクリックするとズームが無効になり、元のサイズに戻ります。

PRINT コントロールを使用すると、デフォルトのアプリケーション経由で印刷できます。

画像ビューアはデフォルトで有効になっていますが、「ファイル」→「オプション」ダイアログで無効にすることができます。設定はレジストリに保存され、複数回実行しても保持されます。

すべての添付ファイルは、概要ウィンドウで選択したメールをダブルクリックするか、「表示」→「EML を表示」メニュー オプションを選択することでもアクセスできます。

10.26 メールナビゲーション

概要ウィンドウで特定のメールをクリックし、上矢印キーと下矢印キーを使用してそれぞれ次のメールまたは前のメールに移動します。

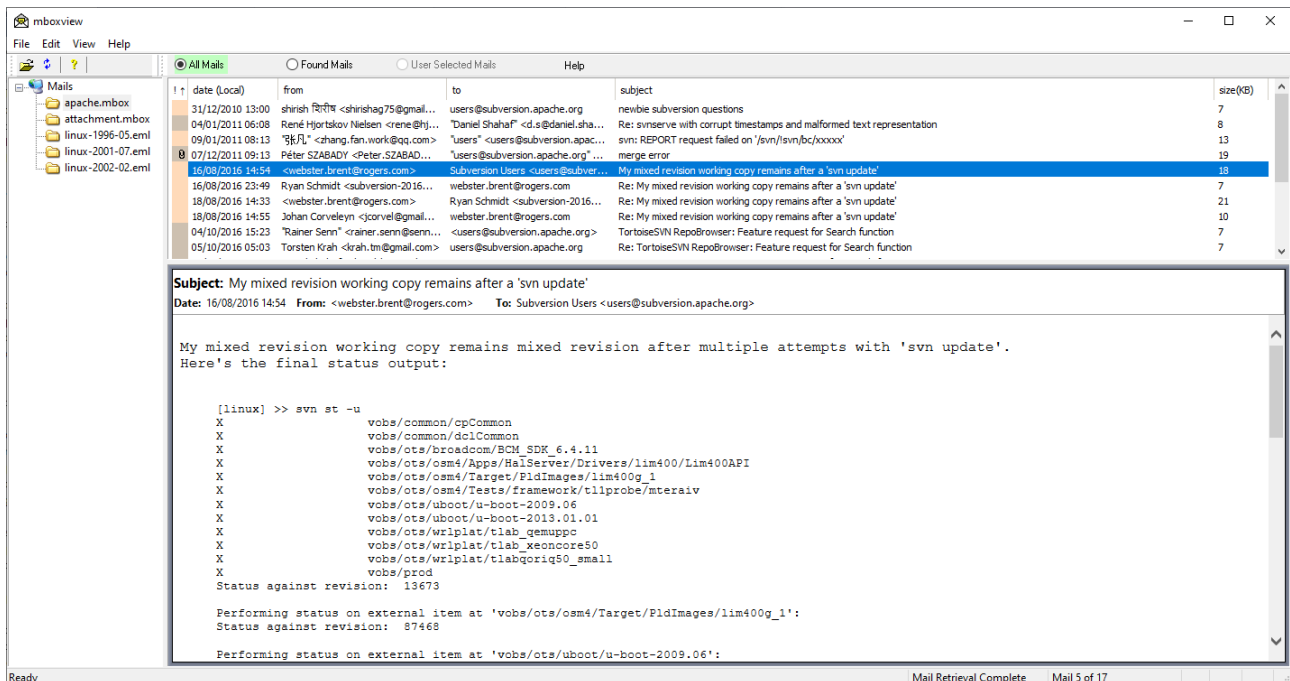
HOME キーで最初のメールへジャンプします。END キーで最後のメールへジャンプします。

マウスホイールまたは垂直バーを使用してメールを上下にスクロールし、メールの 1 つを選択します。

10.27 郵便物の仕分け

概要ウィンドウは、添付ファイル表示、日付、送信元、宛先、件名、メールサイズの 6 つの列に分かれています。各列は列タイトルをクリックすることで並べ替えることができます。同じ列タイトルをもう一度クリックすると、並べ替えの順序が逆になります。最初の列タイトルをクリックすると、メールは会話ごとに並べ替えられ、以下のように異なる色でマークされます。

メールは、メール アーカイブのコンテキスト メニュー、または「ファイル」->「並べ替え」メニュー オプションを選択して並べ替えることもできます。



10.27.1.1 件名の並べ替えルール

件名を並べ替えると、件名スレッドが作成されます。これは、同じ件名のメール(またはスレッド)のグループです。スレッド内のメールは、時間順に並べ替えられます。

デフォルトでは、件名のスレッドは英数字順に並べられます。

「ファイル→オプション→時間順スレッド」オプションを選択すると、件名のスレッドを時間順に並べ替えることができます。

10.28 動的な列のサイズ変更

サマリー ウィンドウのサイズが変更されると、サマリー ウィンドウ内の列のサイズも自動的に変更されます。

ただし、列のサイズを手動で変更すると、一部の列が表示領域/ウィンドウに表示されなくなる可能性があります。

ります。

欠落している列を表示するにはスクロール バーを使用する必要がある場合があります。それ以外の場合は、ウィンドウを最大化してから復元し、概要ウィンドウ内のすべての列を再度表示します。

10.29 メール検索

Mbox ビューアは、基本検索と詳細検索という 2 つの検索オプションをサポートしています。

基本的な検索オプションを使用すると、ユーザーはヘッダー フィールド、メール テキスト、添付ファイルのテキスト、添付ファイル名を検索するための単一のキーワードを指定できます。

高度な検索オプションを使用すると、ユーザーはヘッダー フィールド、メール テキスト、添付ファイル名、添付ファイルごとにキーワードを指定できます。

10.29.1 基本的な検索

基本的な検索オプションを使用すると、ユーザーはヘッダー フィールド、メール テキスト、添付ファイルを検索するための単一のキーワード/文字列を指定できます。

ユーザーは、送信元、宛先、件名、メッセージ本文、添付ファイル名、添付ファイル本文のオプションのすべてまたは一部を選択することで、検索範囲を設定できます。指定したキーワードがチェックされたフィールドのいずれかに一致すると、検索は成功します。

「編集」ドロップダウンメニューをクリックし、「検索」オプションを選択して検索の設定と開始を行います。または、Ctrl+F キーを押しても検索ダイアログが表示されます。

検索ダイアログ ボックスでは、検索文字列、単語全体の一致、検索で大文字と小文字を区別するかどうか、検索範囲、フィルタリングに考慮する開始日と終了日、次/前の検索方向、一致したテキストのすべての出現を強調表示するかどうかを指定できます。

次の検索は最も古いメールから開始されますが、前の検索は最新のメールから開始されることに注意してください。

検索ロジックは単純です。つまり、メール内のチェックされたフィールドのいずれかに検索文字列が見つかった場合、メールは一致とみなされます。

次の一致するメールを見つけるために検索を繰り返すには、「編集」ドロップメニューをクリックして「再検索」オプションを選択するか、F3 キーを選択します。

事前に「検索」または CTRL+F を選択せずに「再検索」または F3 キーを選択すると、検索ダイアログボックスがユーザーに表示されます。

10.29.1.1 オプションに一致するすべてのメールを検索

「一致するすべてのメールを検索」にチェックを入れると、一致するすべてのメールを検索できます。この場合、すべてのキーワードの出現箇所の自動ハイライト表示はサポートされません。一致したメールは「見つかったメール」リストに表示され、ダイアログバーの対応するボタンがハイライト表示されます。「すべてのメール」ボタンを左クリックすると、メールリストが「すべてのメール」に戻ります。

基本的な検索は、リストが有効になっている場合、見つかったメール リスト内やユーザーが選択したメール リスト内でも実行できます。

10.29.1.2 一致しないメールを検索するオプション

ユーザーは「一致しないメールを検索する」オプションをチェックして、検索条件に一致しないメールを見つけることができます。

10.29.1.3 特殊な「*」検索文字列の扱い

ユーザーは、次のようにメールのサブセットを検索するための検索文字列として単一の「*」文字を指定できます。

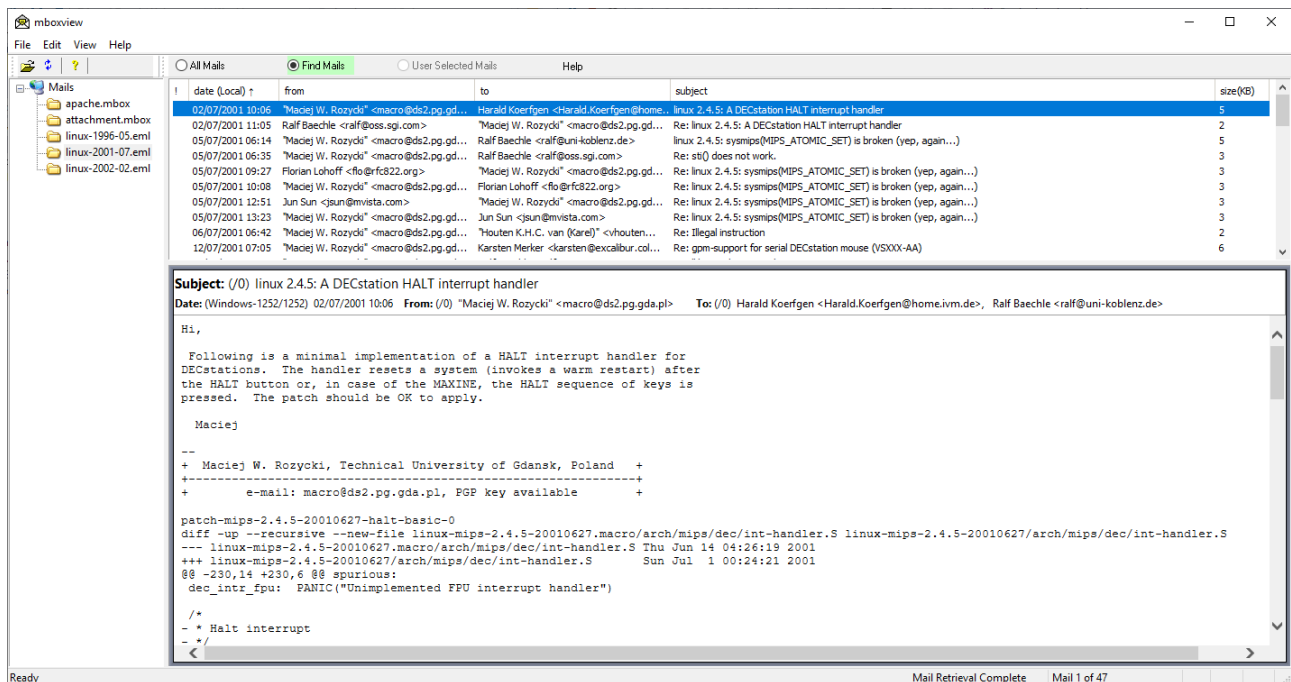
1. CC チェック ボックスのみをチェックして、CC ヘッダー フィールドを持つメールを検索します。
2. BCC チェックボックスのみをオンにして、BCC ヘッダー フィールドを持つメールを検索します。
3. 添付ファイル名チェックボックスのみをチェックして、少なくとも 1 つの添付ファイルがあるメールを検索します。
4. 他のチェックボックスのみをチェックして、すべてのメールを一致させます。

「すべての発生箇所を検索」オプションが選択されていない場合、ユーザーは開始日と終了日の間のメール/一致したメールのサブセットを検索することになるので注意してください。

10.29.1.4 日付をフィルター

日付のフィルターオプションを使用すると、ユーザーは日付範囲を指定してメールを検索できます。デフォルト

トでは、開始日は最も古いメールに対応し、終了日は最新のメールに対応します。日付のフィルターオプションが設定されていない場合は、開始日と終了日の値に関係なく、選択したリスト (すべてのメール、メールの検索、ユーザーが選択したメール) のすべてのメールが検索されます。日付のフィルターオプションが設定されている場合、ユーザーは検索の開始日と終了日を設定できます。開始日と終了日の処理は、選択したメール リスト (すべてのメール、メールの検索、ユーザーが選択したメール) によって異なります。すべてのメール リストでは、他のリストの選択などの他のユーザー アクションに関係なく、開始日と終了日は完全にユーザーが制御できます。ただし、開始日と日付は、アプリケーションの再起動後や、ユーザーが新しい mbox メール アrchive ファイルを選択した場合には保持されません。ユーザーはメールの検索またはユーザーが選択したメール リストで開始日と終了日を設定できますが、初期値はデフォルト値に設定されます。



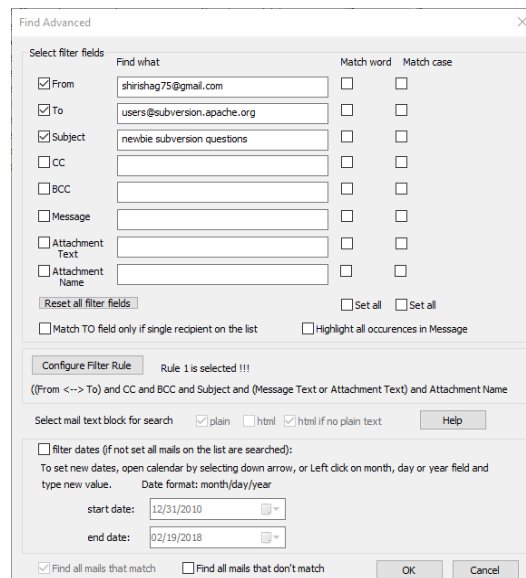
10.29.2 詳細検索

高度な検索オプションを使用すると、ヘッダー フィールド、メール テキスト、添付ファイル名、添付ファイルごとに異なるキーワードを指定できます。

ユーザーは、送信元、宛先、件名、CC、BCC、メッセージ テキスト、添付ファイル名、テキスト添付ファイルのオプションのすべてまたはサブセットを選択して、検索範囲を設定できます。

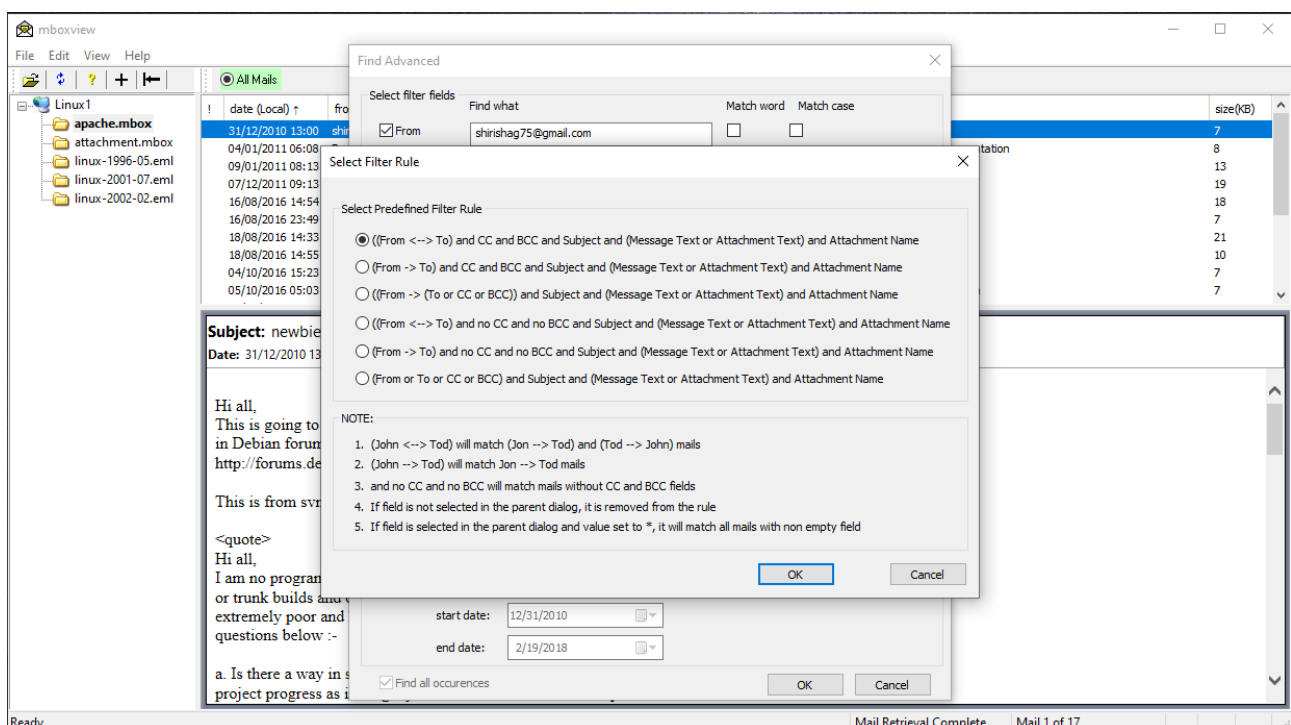
「編集」ドロップメニューをクリックし、「詳細検索」オプションを選択して検索を設定および開始します。

選択したメールのメニューオプションから「詳細検索」を選択することもできます。メールを右クリックし、「詳細検索」オプションを選択してください。この場合、Mbox Viewer は送信者、宛先、件名の各フィールドを自動入力します。



一致ロジックではチェックされたフィールドのみが使用され、フィールドがチェックされていない限り、検索文字列は存在しても無視されます。

検索ロジックは、最も一般的なケース向けにハードコードされています。「フィルタールールの設定」ボタンを選択してダイアログを開き、事前設定されたフィルタールールのいずれかを選択してください。



ユーザーが選択したメールリストを活用することで、より複雑な検索が可能になります。複数の高度な検索を実行し、結果をユーザーが選択したメールリストに統合できます。

10.29.2.1 一致しないメールをすべて検索するオプション

ユーザーは、「一致しないすべてのメールを検索する」オプションをチェックして、検索条件に一致しないメールを見つけることができます。

ASCII および ISO-8859-1 文字セットで構成されていない電子メールを検索する場合は、単語を検索するオプションを設定しないでください。

10.29.5 検索進捗バー

検索プログレスバーは、設定された検索文字列の進行状況を表示し、ユーザーが必要に応じて検索をキャンセルできるようにします。指定された検索期間が、-PROGRESS_BAR_DELAY コマンドラインオプションで制御される遅延時間、または GUI で指定された遅延時間を超えない限り、プログレスバーは表示されません。デフォルト値は 1 秒です。

10.29.6 検索パフォーマンス

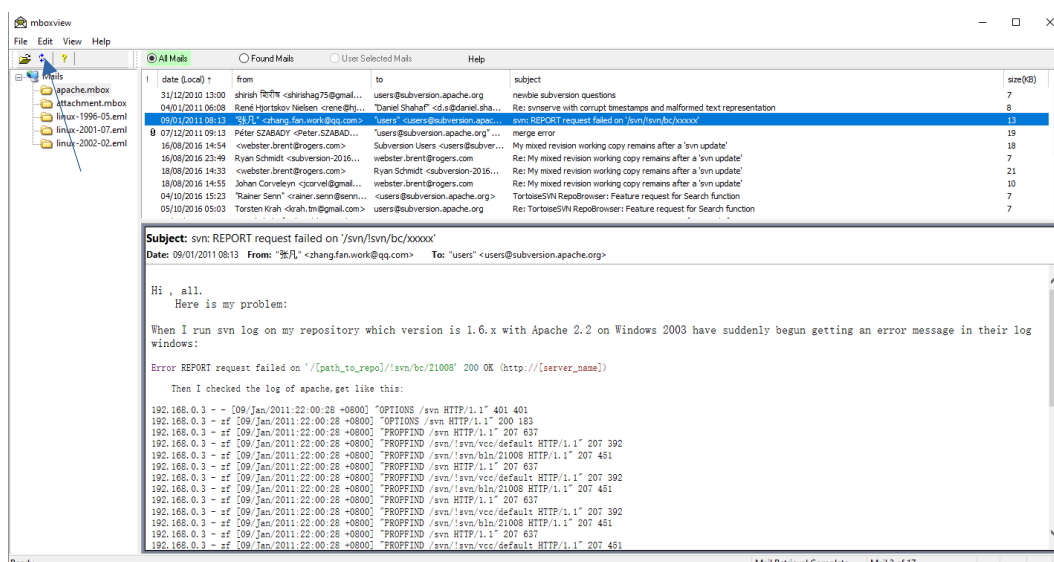
すべてのフィールドがメモリ内に存在するため、ヘッダー フィールドの検索は最適に実行されます。

メッセージやテキスト添付ファイルの検索は、10～20GB を超えるような非常に大きなファイルの場合、時間がかかることがあります。検索には、メールファイルからコンテンツブロックを読み取り、必要に応じてコンテンツをデコードする必要があります。最悪のシナリオとしては、指定した検索文字列がメールアーカイブに存在しないことが挙げられます。検索を有効にすると、設定された検索文字列がプログレスバーに表示され、必要に応じて検索をキャンセルできます。

メッセージとテキスト添付ファイルの検索が設定されている場合、検索パフォーマンスを最大化するために、会話で並べ替えられている場合を除き、すべてのメールは最初に日付で並べ替えられることに注意してください。

10.30 アーカイブツリーウィンドウを更新しています

既に選択されているフォルダに mbox ファイルまたは eml ファイルを追加した場合、アーカイブツリーウィンドウを更新して新しい追加内容を確認する必要があります。これは、「ファイル」ドロップダウンメニューの「更新」オプションを選択するか、下図のボタンをクリックして実行できます。個々のフォルダを更新するには、フォルダを右クリックし、「フォルダを更新」メニューオプションを選択します。

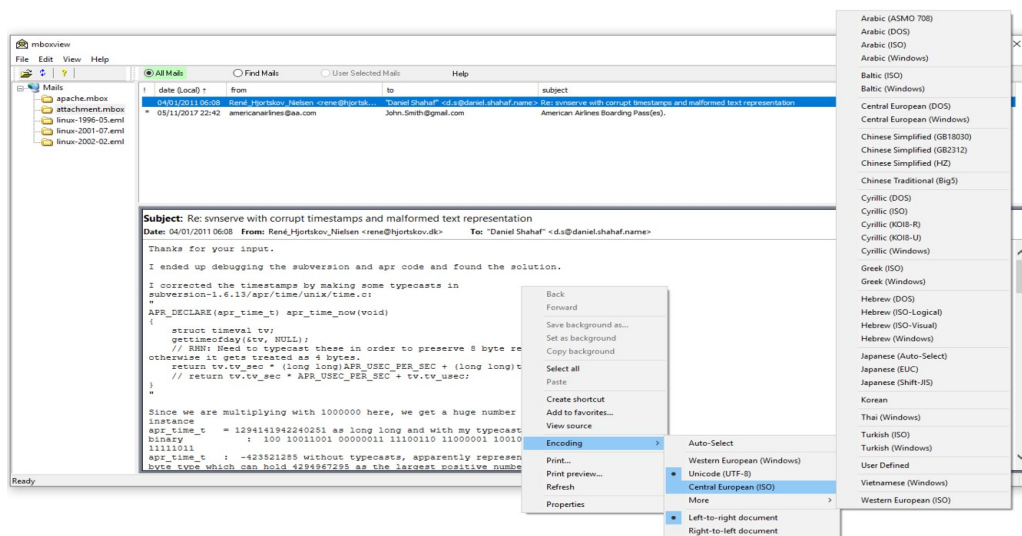


10.31 言語(文字セット)のサポート

10.31.1 メッセージウィンドウ

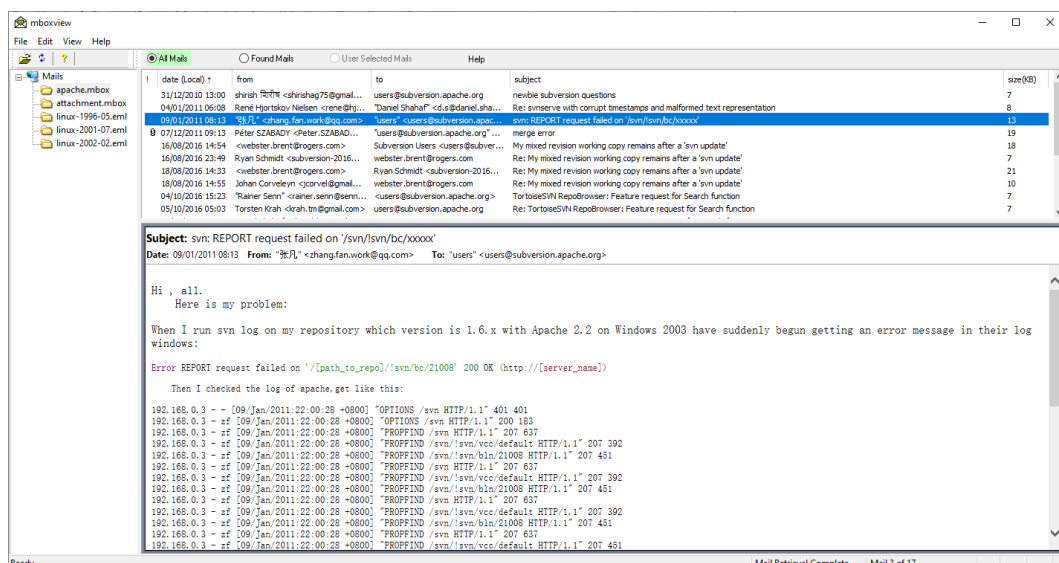
メッセージウィンドウでは、様々な言語(文字セット)が適切にサポートされています。これは、mboxview に統合された Microsoft Web ブラウザエミュレーション/コントロールクラスのおかげです。mboxview はメール本文から HTML ファイルを生成し、Web ブラウザは生成されたファイルをメッセージウィンドウに表示します。

メール本文の文字セットがメール内で定義されていない場合、正しく表示されないことがあります。この問題を解決するには、ウィンドウ内で右クリックし、「エンコード」と「その他」オプションを選択して、別の言語を適用してみてください。



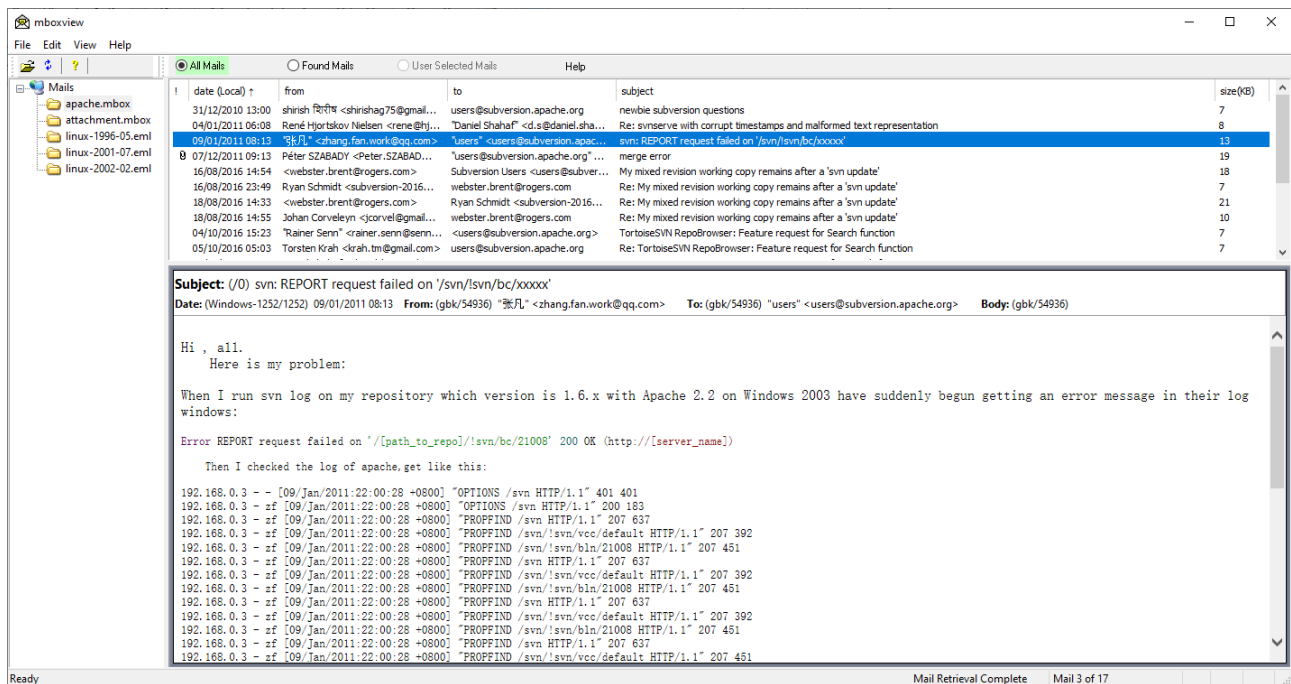
10.31.1.1 メッセージウィンドウのヘッダー

対応するフィールド エンコーディング タイプが電子メール内に存在する限り、メール ヘッダー フィールドのテキストは正しく表示されます。



メールにフィールドエンコーディングが指定されていない場合に、メッセージヘッダー内のフィールド表示が不適切になる問題に対処するために、2つのグローバルオプションを使用できます。フィールドエンコーディングが指定されていない場合、問題が発生する場合と発生しない場合があります。コンピュータにインストールされているデフォルト/ローカル文字セットがヘッダーフィールドの元のエンコーディングと一致している場合は、問題にはなりません。ただし、異なる国からメールを受信する場合は問題が発生する可能性があります。

下図のように、「文字セットを表示」オプションを有効にすると、ヘッダーフィールドに適用されているすべてのエンコーディング/文字セットを確認できます。有効にするには、「ファイル」ドロップダウンメニューから「オプション」を選択し、「文字セットを表示」を有効にしてください。



フィールドのテキスト表示が正しくない場合は、選択したヘッダーフィールドの文字セット (Microsoft 用語ではコードページと呼ばれます) を設定してみて、改善するかどうかを確認してください。フィールドごとのコードページは、「オプション」ダイアログボックスで設定できます。ユーザーが指定したエンコーディングは、メール内のエンコーディング (0 より大きいコードページ) を上書きしないことに注意してください。コードページが 0 に設定されている場合、文字セットが欠落しているか不明であることを示します。

[オプション] ダイアログ ボックスでコード ページの値を変更する場合は、上下 (または下から上) に移動して選択した電子メールを更新する必要があります。

Windows でサポートされているすべてのコードページは、章に記載されています。14 または、「表示」→「コード ページ ID の表示」を選択して外部ブラウザで表示することもできます。

文字セット情報はフィールドタイトルの後に表示されます。形式は「(文字セット名/コードページ)」です。ユーザー指定のコードが適用されている場合は、コードページの後に「*」アスタリスクが付加されます。例: 「(UTF-8/65001*)」

「日付:」タイトルの後の文字セット情報には、コンピュータにインストールされているローカル/デフォルトの文字セットが表示されます。

10.31.2 概要ウィンドウ

対応するフィールド エンコーディング タイプが電子メール内に存在する限り、メール ヘッダー フィールドは正しく表示されます。

10.32 メールリスト監査

メール リスト監査機能を使用すると、複数の検索の結果を結合したり、ユーザーが選択した 1 つ以上のメールを結合したりして、すべてのメールからメール リストを作成できます。

リスト監査をサポートするために、Mbox Viewer は次の 3 つの内部メール リストを維持します。

- **すべてのメールリスト**は、メール ツリー下の選択されたアーカイブ ファイルから作成されます。
- **見つかったメールリスト**には検索結果が表示されます。ユーザーは「詳細検索」ダイアログを実行するか、「検索」ダイアログで「すべての出現箇所を検索」オプションを設定できます。
- **ユーザーが選択したメールリスト**は、ユーザーが「すべてのメール」リストと「見つかったメール」リストのメールから作成します。「すべてのメール」リストと「見つかったメール」リストのメールが「ユーザーが選択したメール」リストにも含まれている場合は、最初の列に赤い縦線が表示されます。

各内部メールリストには、ツールバーの横にあるダイアログバーに関連ボタンがあります。特定のメールリストがメールサマリーウィンドウに表示されている場合は、関連ボタンがハイライト表示されます。

起動時には「ユーザーが選択したメール」リストへのアクセスは無効になっており、関連ボタンはグレー表示になっています。ユーザーは必要に応じて、「表示」->「ユーザーが選択したメール」リストを選択して有効化/無効化することで、リストの簡易監査を実行できます。

ユーザーが選択したメール リストが有効になっている場合、選択したメールをユーザーが選択したメールにコピーするなどの追加のメール メニュー オプションも有効になります。

ユーザー選択メールリストの内容はユーザーによって制御されます。ユーザーは検索結果をユーザー選択リストの内容と結合できます。

ユーザーは複数回検索を実行し、ユーザー選択リストを使用して結果を複数回マージできます。マージ前に検索結果をブルーニングすることも可能です。

さらに、ユーザーは、サマリー メール ウィンドウで 1 つ以上のメールを選択/強調表示し、ユーザーが選択したメール リストにコピーするオプションがあります。

複数のメールを選択して強調表示するには、Shift キーを押しながら左クリック、Ctrl キーを押しながら左クリック、Ctrl キーを押しながら A などの標準的な Windows の方法を使用します。

マージ/コピー プロセスでは、ユーザー選択リストに重複したメールは作成されません。

ユーザーは、サマリーメールウィンドウで 1 つまたは複数のメールを選択してハイライト表示し、アクティブなリストから削除できます。すべてのメールリストからメールを削除することはできません。

新しいメール アーカイブが選択されるまで、すべてのメール リストの内容は保持されます。

見つかったメール リストの内容は、新しい検索が実行されるか、新しいメール アーカイブが選択されるまで保持されます。

ユーザーが選択したメール リストの内容は、ユーザーがクリアするか、新しいメール アーカイブが選択されるまで保持されます。

10.32.1 メールリストのアーカイブ

見つかったメール リストとユーザーが選択したメール リストの内容は、新しい mbox アーカイブ ファイルに保存することも、.mboxlist メール リスト ファイルに保存することもできます。

メール アーカイブ ファイルとメール リスト ファイル

は、FolderHousingMailArchives/ArchiveCache/MailArchiveName フォルダーに作成されます。

見つかったメール リストから作成されたアーカイブ ファイルは、メイン アーカイブ ファイル名のベース名に _FIND サフィックスを追加して作成されます。

ユーザーが選択したメール リストからアーカイブ ファイルを作成するときに、_USER サフィックスが追加されます。

たとえば、Gmail のメイン mbox アーカイブ ファイルの名前が「All mail Including Spam and Trash.11.09.2018.mbox」の場合、作成されたアーカイブ ファイルの名前は「All mail Including Spam and Trash.11.09.2018_USER.mbox」になります。

アーカイブの作成が完了すると、作成されたアーカイブ ファイルを含むフォルダーを開くか、Mbox ビューアー内でアーカイブ ファイルを開くためのダイアログが表示されます。

別途、ユーザーは、ユーザーが選択したメール リスト内のメールを .mboxlist ファイル (例:「スパムとゴミ箱を含むすべてのメール.11.09.2018_USER.mbox.mboxlist」) に保存できます。 .mboxlist ファイルは、メール アーカイブ ファイルよりもはるかに小さくなります。 .mboxlist ファイルにメールを保存する際に mbox ビューアーが壊滅的な障害に見舞われるのを防ぐため、mbox ビューアーは、「スパムとゴミ箱を含むすべてのメール.11.09.2018_USER.mbox.mboxlist.bak1」および「スパムとゴミ箱を含むすべてのメール.11.09.2018_USER.mbox.mboxlist.bak2」ファイルを維持します。 回復するには、ユーザーはこれらの 2 つのファイルのいずれかを「スパムとゴミ箱を含むすべてのメール.11.09.2018_USER.mbox.mboxlist」ファイルにコピーする必要があります。

ユーザーは、最後に受信したメールリストファイルを「ユーザー選択メール」に再読み込みできます。再読み込みは、mbox ビューアの再起動後を含め、いつでもリクエストできます。

mbox ビューアを再起動した後、またはユーザーが選択したメール リストが空の場合、すべてのメール リストがアクティブなときにユーザーが選択したメール リストを復元できます。

ユーザーが選択したメール リストがアクティブで空でない場合、ユーザーは最後の .mboxlist ファイルからリストを再読み込みできます。

警告: マスターメール アーカイブが変更されると、.mboxlist ファイルは有効ではなくなります。

10.32.2 複数のメールアーカイブを結合する

10.32.2.1 コマンドラインオプションを使用してファイルを結合する

複数の Mbox および Eml ファイル (フル パス) をファイルにリストし、2 つのコマンド ライン オプションを使用して 1 つのアーカイブ ファイルに連結できます。

-MBOX_MERGE_LIST_FILE=listFile Name および **-MBOX_MERGE_TO_FILE**=mergedFile Name コマンドラインオプションを使用して、listFile Name にリストされた mbox ファイルの内容を結合します。結合するファイル名にはワイルドカードがサポートされています。結合された mbox ファイルは自動的に Mbox ビューアで開きます。

10.32.2.2 GUI からファイルをマージする

「フォルダ名を右クリック -> メールアーカイブファイルを結合」オプションを使用すると、複数のアーカイブを 1 つのアーカイブに結合できます。これは、同じアーカイブファイルから複数のメールビュー（別々のアーカイブファイルとして提供されているもの）を分析する必要がある場合に便利です。結合が完了したら、「フォルダー名を右クリック -> フォルダーを更新」を選択して、Mbox Viewer に新しいアーカイブの検出を要求します。連結されたファイルから重複したメールを削除するには、次の手順を実行します。

1. 作成したアーカイブを選択します。
2. 「表示 -> ユーザーが選択したメール」を選択して、ユーザーが選択したメール リストを有効にします。
3. 任意のメール上で右クリックし、「すべてをユーザーが選択したメールにコピー」オプションを選択して、すべてのメールをユーザーが選択したメールのリストにコピーします。
4. 「ユーザーが選択したメール」ボタンをクリックして、ユーザーが選択したメールのリストを選択します。
5. 任意のメール上で右クリックして「重複メールの削除」オプションを選択すると、ユーザーが選択したメール リストから重複メールが削除されます。
6. メールプロバイダーによって生成された日付、送信元、宛先のヘッダー フィールドと一意のメッセージ ID が一致する場合、メールは重複していると見なされます。
7. 「メール アーカイブ ファイルとして保存」オプションを選択して、ユーザーが選択したメール リストにメールを保存します。
8. Mbox ビューアーによって重複のない新しいメール アーカイブ ファイルを見つけるには、「フォルダー名を右クリック -> 更新」を選択します。
9. 上記の手順の前に、アーカイブ ファイルに割り当てられたデフォルトの名前を変更する必要がある場合があります。

10.33 メール印刷の概要

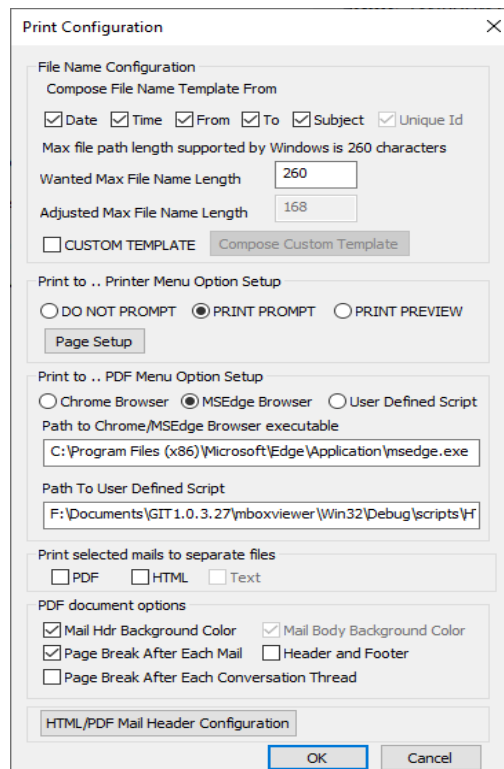
Mbox Viewer は、すべてのメール、単一メール、または複数のメールを CSV、テキスト、HTML、PDF ファイル、および PDF プリンタに印刷できます。また、HTML ファイルとして印刷されたメールを任意の Web ブラウザから開くことで、メールを PDF 形式で印刷することもできます。

デフォルトでは、すべてのメール、単一または複数のメールが、追加の設定や手動操作なしで、単一の CSV、テキスト、HTML、または PDF ファイルに出力されます。ただし、1 つのファイルに出力できるメールの数には制限があります。メール数が多い場合は、メールを別々のファイルに出力するオプションも用意されています。10.33.7 セクション。

次のセクションでは、これらの制限と代替ソリューションについて説明します。

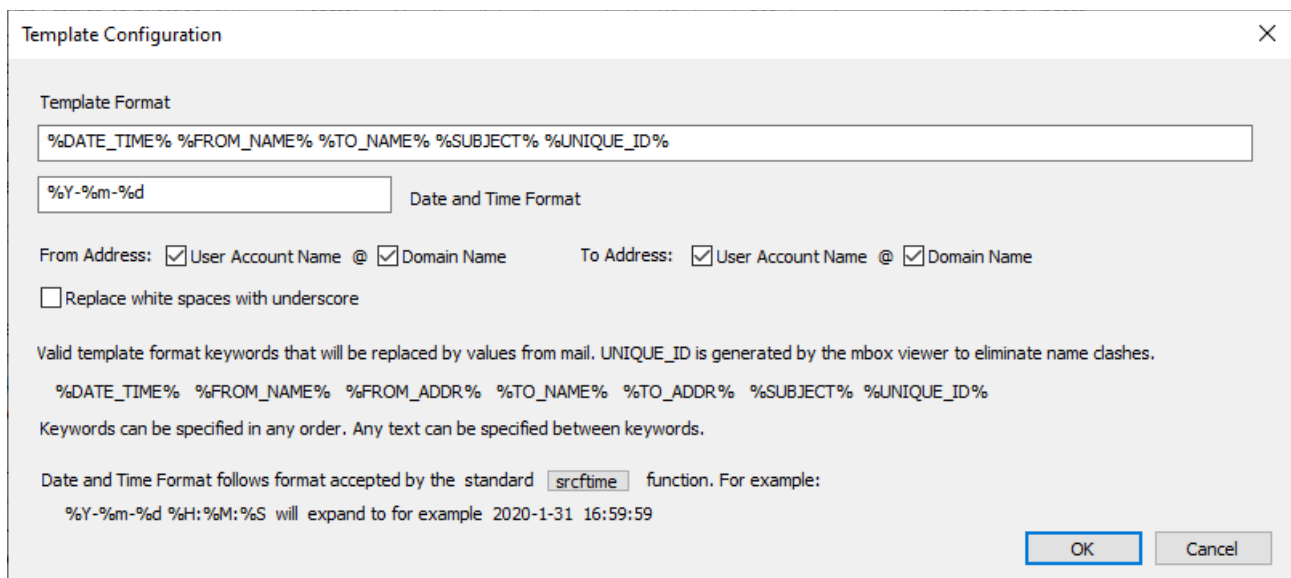
10.33.1 印刷設定ダイアログ

印刷に関する様々な設定は、「ファイル → 印刷設定」オプションから行えます。ダイアログは以下のとおりです。使用方法については後続のセクションで説明します。



10.33.1.1 カスタム名テンプレート

ユーザーは、「カスタムテンプレート」にチェックを入れ、「カスタムテンプレートを作成」を選択することで、カスタム名テンプレートを作成できます。以下のテンプレート設定ダイアログが表示されます。



10.33.2 CSV スプレッドシートファイルへのメール印刷

Mbox Viewer はデフォルトで、すべてのメールまたは選択したメールグループを 1 つの CSV ファイルに印刷

できます。すべてのメールを 1 つの CSV ファイルに印刷することは可能ですが、特定のスプレッドシートツールでは、サポートされるスプレッドシートファイルの最大サイズが制限される場合があります。

回避策として、ユーザーはメールのグループまたはサブセットを選択し、個別の CSV ファイルに出力することができます。すべてのメールを、設定可能な数のメールグループに自動的に分割して、個別の CSV ファイルに出力するオプションはありません。

10.33.3 メールをテキストファイルに印刷

Mbox Viewer はデフォルトで、すべてのメール、単一のメール、または選択した複数のメールを単一のテキストファイルに印刷することをサポートしています。すべてのメールを単一のテキストファイルに印刷することは可能ですが、特定のテキストビューアツールによっては、サポートされるテキストファイルの最大サイズが制限される場合があります。

回避策として、メールのグループまたはサブセットを選択して、別々のテキストファイルに印刷することができます。すべてのメールを、設定可能な数のメールグループに自動的に分割して、別々のテキストファイルに印刷するオプションはありません。

10.33.4 HTML ファイルへのメール印刷

Mbox Viewer は、デフォルトですべてのメール、単一または選択したメールグループを単一の HTML ファイルに印刷できます。また、「メールを PDF に印刷」で説明されているように、メールごとに個別の HTML ファイルに印刷して、さらに処理することも可能です。10.33.6 セクションと「パワーユーザーによる PDF ファイルへのメール印刷」10.33.7 セクション。

すべてのアーカイブ メールは単一の HTML ファイルに出力できますが、HTML ビューア ツール/Web ブラウザは大きな HTML ファイルを処理できず、非常に遅くなったり、完全に過負荷になったりする可能性があります。

回避策として、メールのグループまたはサブセットを選択して、別々の HTML ファイルに印刷することができます。すべてのメールを、設定可能な数のメールグループに自動的に分割して、別々の HTML ファイルに印刷するオプションはありません。

1 つの HTML ファイルに何通のメールを印刷し、Web ブラウザで閲覧できるかという厳格なルールはありません。メールのサイズと内容（例えば、大量のグラフィックなど）によって異なります。数千通程度の小～中サイズのテキストメールであれば、1 つの HTML ファイルに印刷して後処理することは可能です。

10.33.5 PDF プリンターへのメール印刷

Mbox Viewer は、すべてのメール、単一のメール、または選択したメールのグループの PDF プリンターへの印刷をサポートします。

PDF プリンターへの印刷は、Microsoft HTML Document オブジェクトを使用してコンテンツを印刷します。まず、Mbox Viewer はメールを単一の HTML ファイルに印刷し、次にこのファイルを HTML Document オブジェクトに読み込み、Document オブジェクトに印刷を要求します。

印刷できるメールの最大数に関する制限については、「メールを HTML ファイルに印刷する」セクションで説明します。

「ファイル -> 印刷設定 -> ページ設定」ダイアログ オプションを使用すると、ページのタイトル、ヘッダー、フッター、背景色を制御できます。

デフォルトでは、メールを印刷する際に PDF プリンタを選択するよう求められます。PDF プリンタがデフォ

トのプリンタとして設定されている場合は、「ファイル -> 印刷設定 -> 確認しない」ダイアログオプションを設定することで、プリンタの確認を省略できます。

10.33.6 メールを PDF ファイルに印刷

Mbox Viewer は、すべてのメール、1 通のメール、または複数のメールを PDF ファイルに印刷する複数の方法をサポートしています。いずれの方法でも、Mbox Viewer によってメールから最初に作成された HTML ファイルを PDF 形式に変換します。

デフォルトでは、すべてのメール、個別のメール、または選択したメールが単一の HTML ファイルに出力され、その後 PDF 形式に変換されます。このデフォルトの方法では、前のセクションで説明したように、単一の HTML ファイルに効率的に出力できるメールの数が制限されます。よりスケーラブルな方法については、「メールを PDF ファイルに出力するためのパワーユーザー向け方法」で説明しています。10.33.7 セクション。

Mbox Viewer は、ユーザーの操作なしでメールを PDF ファイルに直接印刷するオプションをサポートしています。PDF ファイルへの直接印刷は、HTML ファイルを PDF に変換する外部アプリケーションを起動します。変換には、標準の Google Chrome または Microsoft Edge ブラウザ（いわゆるヘッドレスモード）が使用されます。Microsoft Edge と Chrome では、標準のヘッダーとフッターの有無にかかわらず、ページの印刷を設定できます。

10.33.6.1 無料の wkhtmltopdf アプリケーションの使用

注記: wkhtmltopdf のサポートは、今後のリリースで削除される可能性があります。wkhtmltopdf プロジェクトは現在では開発されていません。メイン開発者によってアーカイブされており、読み取り専用モードになっています。このプロジェクトの履歴とステータスを確認するには、提供されているリンクを開いてください。

[wkhtmltopdf](http://wkhtmltopdf.org)。

無料の wkhtmltopdf アプリケーションを利用して HTML を PDF に変換し、ページタイトル、ヘッダー、フッター、背景色を制御できるオプションが提供されています。ただし、無料の wkhtmltopdf アプリケーションは完全に評価されていないため、非常にまれな場合にのみ使用してください。wkhtmltopdf のサポートは、Edge や Chrome に比べて何年も遅れているようです。

ユーザーは、「ファイル -> 印刷設定 -> ユーザー定義スクリプトへのパス」を設定することで、リリースパッケージに含まれる HTML2PDF-single-wkhtmltopdf.cmd スクリプトを呼び出すことができます。

HTML2PDF-single-wkhtmltopdf.cmd スクリプトは、右フッターに「総ページ数」が付き、ページタイトルとヘッダーがない PDF ファイルを作成します。このスクリプトは、必要に応じてユーザーがカスタマイズできます。

wkhtmltopdf は以下からダウンロードできます。wkhtmltopdf.org [ダウンロード](#) wkhtmltopdf のコマンドラインオプションについては、wkhtmltopdf.org の使い方。

10.33.6.2 印刷オプション

複数のメールを 1 つの PDF ファイルに印刷する場合、ユーザーは

1. 「ファイル -> 印刷設定 -> メールごとに改ページ」オプションを設定して、各メールを新しいページで開始するか、
2. 「ファイル -> 印刷設定 -> 各会話スレッドの後に改ページ」を設定して、会話または件名のスレッ

ドを新しいページで開始します。

ユーザーは、「ファイル -> 印刷設定 -> メール ヘッダーの背景色」オプションを設定解除して、メール ヘッダーの背景色を削除し、印刷時にインクを節約できます。

ユーザーは、「ファイル -> 印刷設定 -> ヘッダーとフッター」オプションを設定/設定解除して、MS Edge および Chrome ブラウザ経由でページの標準ヘッダーとフッターの印刷を制御できます。

10.33.6.3 Firefox、Chrome、Edge ブラウザから直接印刷する

MBox Viewer で作成された HTML ファイルは、Firefox、Chrome、MS Edge などのブラウザ内で開いて PDF ファイルに印刷したり、追加の印刷オプションを利用したりすることができます。

添付ファイルへのリンクをクリックできるようにするには、Edge および Chrome ブラウザから直接印刷するときに、「PDF に保存」オプションを使用する必要があることに注意してください。

添付ファイルへのリンクは、PDF ドキュメントが Edge または Chrome ブラウザで開かれているときはクリックできますが、Firefox ではクリックできないことに注意してください。

10.33.6.4 複数のメールを1つのPDFに印刷する場合のフォントサイズへの影響

MBox Viewer の複数のメールを1つのPDFに印刷するソリューションは非標準であり、すべてのメールのフォントサイズに影響を与える可能性があります。MBox Viewer は、すべてのメールの内容とヘッダーを HTML 形式で結合し、Edge または Chrome ウェブブラウザに HTML ドキュメントをPDFに変換するよう指示します。

一部のメールには複雑なスタイル定義が含まれており、他のメールの環境を汚染してしまう可能性があります。フォントサイズが小さくなることが多く、PDF ビューアで拡大表示する必要がある場合があります。生成されたPDF文書を紙に印刷する際に、同様の拡大表示を行うための解決策はありません。

注記この問題は時間の経過とともに基本的に解決され、実際には発生しなくなりました。

複数のメールを1つのPDFに印刷する場合は、次の方法が推奨されます。

1. デフォルトモードでメールを印刷します。選択したメールを右クリックし、「選択したメールを印刷 --> PDF --> デフォルト」を選択します。生成されたPDFドキュメントを確認し、問題がある場合は手順2に進みます。
2. マージモードを使用してメールを印刷します。選択したメールを右クリックし、「選択したメールを印刷 --> PDF --> マージ」オプションを選択します。デフォルトでは、選択したすべてのメールが最初に個別のPDFファイルに印刷され、その後、単一のPDFファイルにマージされます。Edge または Chrome ブラウザによるメールのPDF形式への変換は通常高品質で、マージ処理でも元の品質が維持されます。各メールは、マージされたPDFのページの先頭から始まります。これは、小さなメールには最適ではない場合があります。マージモードを実行するには、無料のJava PDFBox コマンドラインツールとJava VM をインストールする必要があります。Java VM は通常 Windows にインストールされていますが、PDFBox アプリケーションは次のリンクからダウンロードする必要があります。

<https://pdfbox.apache.org/download.html>

最新の pdfbox-app-3.*.jar ファイルをダウンロードし、mboxview.exe と同じディレクトリにインストールしてください。また、以下の手順で java.exe がシステムにインストールされているかどうかを確認してください。

コマンドプロンプトを起動し、「where java」と入力します。出力に java.exe が表示されない場合は、Windows 用の Java をインストールする必要があります。また、PATH システム環境変数を更新し、エクスプローラーと MBox ビューアーを再起動する必要がある場合もあります。

方法 1 と 2 では、MBox Viewer でメールごと、またはメール内の会話スレッドごとに改ページするように設定できます。「ファイル」→「印刷設定」→「PDF ドキュメントオプション」→「メールごとに改ページ」/「会話スレッドごとに改ページ」を選択してください。

10.33.6.5 パフォーマンス

1 および 2 のオプションで結合できるメールの最大数は、結合するメールの複雑さとサイズによって異なります。

比較的小さなプレーンテキストのメールをマージする場合は数分かかることがあります、ハイパーリンク、グラフィック、表などが含まれる大量のビジネスメールをマージする場合は数時間かかることがあります。

例えば、オプション 2 (マージオプション) を実行した場合、3926 通のメール (通常のメールとビジネスメールが混在) を別々の PDF に印刷するのに 3 時間かかり、さらに PDFBox で結合するのに 40 分かかりました。タスクマネージャーには、PDFBox プロセスのメモリ使用量が約 8GB であることが示されていました。

オプション 1 は、同じメールセットで完了しませんでした。5 時間以内に完了しなかったため、テストはキャンセルされました。

10.33.7 パワーユーザーによる PDF ファイルへのメール印刷

大量のメールを 1 つの PDF ファイルに出力したいというユーザーもいるかもしれません。これは Mbox Viewer でサポートされていますが、手動で複数の手順を実行する必要があります。まず、複数のメールを別々の HTML ファイルに出力し、最終的に PDF ファイルに出力します。その後、付属のスクリプトを実行して、それらを 1 つの PDF ファイルに結合する必要があります。

単一の HTML ファイルに結合するメールの数は、次のオプションによって制御されます。

「ファイル-->一般オプション設定-->スケーラビリティを向上させるために結合する HTML メールの数」

複数のメールを単一の HTML ファイルに結合することで、すべてのメールを PDF に変換する時間が短縮され、最終的な PDF ファイルのサイズも削減されます。複数の Chrome または Edge インスタンスを利用することで、HTML ファイルから PDF ファイルへの変換時間をさらに短縮できます。

多数のファイルを 1 つの PDF に結合する操作を最適化するには、次の手順に従います。

1. 「スケーラビリティ向上のため、結合する HTML メールの数」オプションを例えば 100 に設定します。この数はメールのサイズと複雑さによって異なります。これにより、PDF に変換する HTML ファイルの総数が 100 分の 1 に削減されます。
2. セクションの説明に従って pdfbox-app-3.*.jar ファイルと Java VM をインストールします。
10.33.6.4
3. PDF ファイルの保存先フォルダを以下の手順で開きます。a) 任意の 2 つのメールを選択し、b) 「選択したメールを印刷 --> PDF --> 結合」オプションを選択します。c) 印刷が完了するまで待ち、「ファイルの場所を開く」を選択します。このフォルダは後でできるように開いたままにしておいてください。

4. すべてのメールまたはメールのサブセットを選択して、単一の PDF ファイルに変換します。
5. 選択したファイルの 1 つを右クリックし、「選択したメールを印刷 --> PDF --> 結合」オプションを選択します。
6. MBox Viewer が HTML ファイルの作成を完了し、HTML ファイルを PDF に変換し始めるまで待ちます。
7. [キャンセル] ボタンを選択し、キャンセルが完了するまで待ちます。
8. 次のスクリプトを PDF ファイルのターゲット フォルダにコピーします: - scripts/run-html2pdf-list.cmd- scripts/html2pdf-list.cmd- scripts/PDFMerge-pdfbox.cmd
9. run-html2pdf-list.cmd スクリプトを更新し、NumberOfBrowsers と RootUserDataDir を設定してください。NumberOfBrowsers はユーザーのコンピューターの物理コア数よりも高く設定しないことをお勧めします。RootUserDataDir フォルダの下に、ブラウザーインスタンスごとに 0、1、2 などのサブフォルダを作成してください。
10. run-html2pdf-list.cmd を左ダブルクリックすると、HTML から PDF への変換が開始されます。複数のウィンドウが作成され、一部は最小化されます。HTML ファイルから PDF への変換が完了したら、run-html2pdf-list.cmd スクリプトによって作成されたすべてのウィンドウを閉じてください。
11. HTML ファイルから PDF への変換が完了したら、PDFMerge-pdfbox.cmd をダブルクリックして、すべての PDF ファイルを PDF_MERGE サブフォルダの下に作成されたターゲット PDF に結合します。

メールの複雑さや変換用に設定されているブラウザの数によっては、プロセス全体に数時間かかる場合があります。

PDF_MERGE サブフォルダに複数の結合された PDF ファイルが作成された場合は、PDFMerge-pdfbox.cmd スクリプトと pdfbox-app-3.*.jar ファイルをそのサブフォルダにコピーし、PDFMerge-pdfbox.cmd スクリプトによって 1 つの PDF ファイルのみが作成されるまでスクリプトを再度実行する必要があります。

無料の PDFBox Java ツールは以下からダウンロードできます。pdfbox.apache.org。

PDFBox コマンドラインツールの使用例については、pdfbox.apache.org コマンドラインツール。

Java 8 がインストールされている必要があり、ここからダウンロードできます。[jdk8 ダウンロード](https://www.oracle.com/ja/java/technologies/javase-downloads.html)。

10.33.7.1 大きなPDF ファイルの表示

Chrome、Edge、Firefox ブラウザ、さらには Adobe Acrobat ビューアでさえ、ギガバイト単位の大容量 PDF ファイルの処理に問題があります。Okular ビューアは、非常に大きな PDF ファイルを閲覧するのに最適で、しかも無料のビューアのようにです。<https://okular.kde.org/>。

10.33.8 他の人とのメール共有

メール共有（またはメールエクスポート）機能を使用すると、選択したメール（複数可）を HTML 形式また

は PDF 形式で他のユーザーと共有できます。MBox ビューアは、選択したメール(複数可)をエクスポートする際に、ExportCache フォルダ内に以下のファイルを作成します。エクスポートされるのは、選択したメールに関連するファイルのみです。

1. 「選択したメールをファイルにエクスポート」オプション。メールをエクスポートすると、以下のファイルが作成されます。

- a. ExportCache フォルダ内に SelectedMailName.htm ファイルが 1 つ作成されます。
SelectedMailName は選択されたメールに固有の名前です。ユーザーは「ファイル」→「印刷設定」→「カスタムテンプレート」→「カスタムテンプレートの作成」ダイアログから、ファイル名のカスタムテンプレートを定義できます。
- b. すべてのインライン添付ファイルと非インライン添付ファイルの「添付ファイル」フォルダー。

2. 「選択した複数のメールを別々のファイルにエクスポートする」オプション。複数のメールを別々のファイルにエクスポートすると、以下のファイルとフォルダが作成されます。

- a. すべてのメールを、添付ファイル インジケーター、日付、件名、送信元、宛先の列を持つテーブルとして表示する index.html ファイル。
- b. HTML 形式でエクスポートされたすべてのメールは「Mails」フォルダに保存されます。MBox Viewer は、エクスポートされたメールごとに SelectedMailName.htm ファイルを作成します。
SelectedMailName は、選択されたメールに固有の名前です。ユーザーは、「ファイル」→「印刷設定」→「カスタムテンプレート」→「カスタムテンプレートの作成」ダイアログで、ファイル名のカスタムテンプレートを定義できます。
- c. すべてのインライン添付ファイルと非インライン添付ファイルを格納する「添付ファイル」フォルダ

3. 「選択した複数のメールを 1 つのファイルにエクスポートする」オプション。複数のメールを 1 つのファイルにエクスポートすると、以下のファイルが作成されます。

- a. ExportCache フォルダの SelectedMailName.htm ファイル。SelectedMailName は、連結される選択されたメールに対して作成された一意の名前です。
- b. すべてのインライン添付ファイルと非インライン添付ファイルを格納する「添付ファイル」フォルダ

いずれの場合も、ユーザーが必要に応じてメールから PDF ファイルを作成するための

exportMails2Pdf.cmd ファイルが AttachmentCache フォルダに作成されます。MBox Viewer は、添付ファイルへのリンクが絶対リンクとして作成され、ローカルコンピュータでのみ機能するため、デフォルトではメールを PDF 形式でエクスポートしません。代わりに、MBox Viewer はユーザーがローカルで PDF ファイルを作成できるようにコマンドスクリプトを作成します。ユーザーのコンピュータには Edge または Chrome ブラウザがインストールされている必要があります。

MBox Viewer では、mbox メールファイルごとに 1 つのエクスポートが可能です。エクスポート済みのファイルが既に存在する場合、ExportCache フォルダを別の場所にコピーするか、既存のエクスポートフォルダを上書きして既存のファイルを削除し、新しいファイルを作成するかを選択するよう求められます。

「選択したメールをエクスポート」→「設定」オプションで、リンクされたドキュメントの開き方(添付ファイルへのリンク、または index.html ファイル内のメールへのリンク)を設定できます。「印刷設定」→「HTML/PDF メールヘッダー設定」→「添付ファイルリンクの開き方」オプションでも同様の設定が可能です。これらの設定は永続的です。

10.33.9 エクスポートと印刷のディレクトリ構造

MBox Viewer はデータディレクトリを作成し、「印刷...」などの MboxViewer によって作成されたファイルとサブフォルダのターゲットディレクトリとして使用し、すべてのメールを eml ファイルとしてエクスポートします。

ディレクトリは、選択したデータ フォルダーに基づいて次のように構成されます。

ディレクトリ = UserSelectedDataFolder\UMBoxViewer\MappedMboxFilePath

マッピングの例。

MboxFilePath=F:\Account\Inbox.mbox の場合、次のようにマッピングされます。

MappedMboxFilePath=F\ Account\Inbox-mbox

そしてディレクトリへ

ディレクトリ=UserSelectedDataFolder\UMBoxViewer\F\ Account\Inbox-mbox

':'文字は削除され、拡張子「.mbox」が存在する場合は「-mbox」にマッピングされます。

ディレクトリ-MBox Viewer によって作成されたファイルとサブディレクトリのターゲットディレクトリ

ディレクトリ\メールアーカイブファイル 1.mbox ディレクトリ\メールアーカイブファイル 1.mbox.mboxview ディレクトリ\メールアーカイブファイル 2.mbox ディレクトリ\メールアーカイブファイル 2.mbox.mboxview

ディレクトリ\イメージキャッシュ

ディレクトリ\ImageCache\MailArchiveFile1-メールに埋め込まれる png、jpg などの画像ファイルのターゲット ディレクトリ

ディレクトリ\ImageCache\MailArchiveFile2

ディレクトリ\アーカイブキャッシュ

ディレクトリ\ArchiveCache\MailArchiveFile1-検索メールとユーザーが選択したメールを .mbox アーカイブ ファイルと .mboxlist メール リスト ファイルとして保存するためのターゲット ディレクトリ

ディレクトリ\アーカイブキャッシュ\メールアーカイブファイル 2

ディレクトリ\プリントキャッシュ

ディレクトリ\PrintCache\MailArchiveFile1-単一の CSV、TEXT、HTML、PDF ファイルに印刷するためのターゲット ディレクトリ

ディレクトリ\PrintCache\MailArchiveFile1\PDF_GROUP-個別の PDF ファイルに印刷するためのターゲット ディレクトリ

ディレクトリ\PrintCache\MailArchiveFile1\HTML_GROUP-別々の HTML ファイルに印刷するためのターゲット ディレクトリ

ディレクトリ\PrintCache\MailArchiveFile2 ディレクトリ\AttachmentCache\MailArchiveFile1 -

すべての添付ファイルのターゲットディレクトリ

ディレクトリ\添付ファイルキャッシュ\メールアーカイブファイル 2

ディレクトリ\EmlCache\MailArchiveFile1 -すべての Eml ファイルのターゲットディレクトリ

ディレクトリ\EmlCache\MailArchiveFile2

ディレクトリ\ラベルキャッシュ -すべてのラベルファイルのターゲットディレクトリ

ディレクトリ\MergeCache -「ファイル→マージのルートフォルダを選択」を選択したときに作成される中間ファイルのターゲットディレクトリ。

ディレクトリ\エクスポートキャッシュ -メールをエクスポート/共有するためのターゲットディレクトリ

ディレクトリ\エクスポートキャッシュ\メール -HTML ファイルとしてエンコードされたメールのターゲット ディレクトリ。

ディレクトリ\エクスポートキャッシュ\添付ファイル -エクスポートされたメールに関連するインラインおよび非インライン添付ファイルのターゲット ディレクトリ。

Mbox Viewer は、ユーザーが 1 つのメールを選択したときに作成される一時ファイル (添付ファイル、eml および htm) を保存するための一時的な C:\Users\UserName\AppData\Local\Temp\UMBoxViewer ディレクトリと C:\Users\UserName\AppData\Local\Temp\UMBoxViewerPreview ディレクトリも作成して管理します。

Mbox Viewer によって作成されたヘルプ ファイル (MailListsInfo.htm、MboxviewerHelp.htm など) は、

一時ディレクトリ C:\Users\UserName\AppData\Local\Temp\UMBoxViewer\MboxHelp ディレクトリに保存されます。

11 読み取り専用メディアのサポート

MBox Viewer は、CD などの読み取り専用メディアに保存された mbox メール アーカイブ ファイルをサポートします。

MBox Viewer は、セクションで説明されているように、書き込み可能なデータディレクトリの下にインデックスファイルとその他の内部ディレクトリを作成します。10.33.9 そして 10.6。

12 MBox Viewer から直接メールを転送する

12.1 概要

ユーザーは、MBox Viewer から単一または選択した複数のメールを直接転送できます。MBox Viewer は、事前設定された SMTP (Simple Mail Transport Protocol) サーバーのいずれかに接続してメールを転送します。メールは、Gmail、Yahoo!、Outlook Live、またはユーザーが設定したメールサービス経由で転送できます。

MBox Viewer は、SMTP サーバーに接続し、TLS 暗号化通信を使用してメールを送信するために、独立したスタンドアロンプロセスである ForwardEmlFile.exe を使用します。MBox Viewer は、実績のある MailKit ソフトウェアライブラリをリンクして SMTP サーバーと通信します。

SMTP サーバーはデータの送信のみ可能なため、ForwardEmlFile.exe はユーザーのメール アカウントデータにアクセスできないことに注意してください。

すべてのメールサービスでは、メールの送信速度、サイズ、その他の要素に制限を設けていることに注意してください。12.3 一般ユーザーにとって、Gmail は Yahoo や Outlook よりも優れた、より予測可能なサービスを提供しているようです。ただし、Yahoo は最大 39MB のメールに対応しているのに対し、Outlook は 35MB、Gmail は 25MB です。

Yahoo!メールは 39MB の大容量メールを送信できますが、Outlook では 35MB を超えるメールが無視される可能性がありますのでご注意ください。重要なメールを転送する際は、受信者に確認することをお勧めします。

12.2 ユーザーアカウントとパスワード

メール サービス プロバイダーは通常、サードパーティ アプリケーションがサービス (この場合は SMTP サーバー) にアクセスするために特別な認証要件に従うことを要求します。

何らかの理由でメインのメール アカウントを変更したくない場合は、いつでも別のメール サービスで追加のメール アカウントを作成して、MBox Viewer から直接メールを転送することができます。

ノート(2024): 2024 年のテスト中に、Outlook 経由のメール転送が現時点では機能していないことが判明しました。Microsoft は基本的なユーザー認証方法(ユーザー名とパスワード)を廃止し、SMTP サービスにより複雑なユーザー認証を導入しました。

ノート(2024): 2024 年のテスト中に、Yahoo! 経由のメール転送は非常に遅いことが判明しました。Gmail 経由のメール転送は高速で、Yahoo! 経由のメール転送よりもはるかに高速です。

12.2.1 Yahoo メールサービス

ForwardEmlFile.exe などのサードパーティの SMTP クライアント アプリケーションが Yahoo SMTP サーバーにアクセスするには、ユーザーは最初に Yahoo メール アカウントにログインし、後で ForwardEmlFile アプリケーションを SMTP サーバーに認証するために使用できる 1 回限りのアプリ パスワードを生成する必要があります。

アプリパスワードはランダムな 16 文字の長い文字列です。ハッカーによる総当たり攻撃では推測不可能なため、アプリパスワードの使用は非常に安全です。

以下のリンクを選択し、「アプリパスワードを生成」の横にある+記号をクリックし、すべての手順に従って ForwardEmlFile というアプリケーション用のグローバルに一意的なパスワードを生成します。Yahoo! SMTP サーバーと通信するには、アプリパスワードと Yahoo!メールのユーザー名が必要です。

<https://my.help.yahoo.com/kb/account/generate-third-party-passwords-sln15241.html>

12.2.2 Gmail メールサービス

ForwardEmlFile.exe などのサードパーティの SMTP クライアント アプリケーションは、Gmail SMTP サーバーに接続し、1) Gmail ユーザー名と Gmail ユーザーのパスワード、または 2) Gmail ユーザー名と Gmail アプリ パスワードのいずれかを使用して認証できます。

注記(2022 年 11 月)。Gmail では、ユーザー名とパスワードによる認証はサポートされなくなりました。

12.2.2.1 Gmail ユーザーがGmail へのサインアップ時に2 段階認証を有効にしなかった

Gmail ユーザー名と Gmail ユーザー パスワードを使用するには、ユーザーは Gmail アカウントにログインし、「安全性の低いアプリのアクセス」オプションを有効にする必要があります。次のリンクを参照してください。

<https://myaccount.google.com/lesssecureapps?pli=1>

この変更が心配な場合は、メールの転送が完了したら、「安全性の低いアプリのアクセス」オプションを無効にすることができます。

ノート(2024): 「安全性の低いアプリのアクセス」オプションは Gmail ではサポートされなくなりました。

12.2.2.2 Gmail ユーザーはGmail にサインアップするために2 段階認証を有効にしました

ユーザーは Google アカウントにログインし、Gmail アカウント用のアプリパスワードを生成する必要があります。アプリパスワードはランダムな 16 文字の長い文字列です。アプリパスワードは、ハッカーによる総当たり攻撃で推測されることがほとんどないため、非常に安全です。

一般的な情報については、次のリンクを使用してください。

[アプリパスワードでサインイン](#)

または「アプリパスワードでサインイン」をウェブで検索してください

アプリ パスワードを生成するには、以下のリンクを使用します。

[アプリパスワードの作成と管理](#)

ログインし、アプリケーション名として「mboxview」と入力して、アプリケーション パスワードを生成します。

← App passwords

App passwords help you sign into your Google Account on older apps and services that don't support modern security standards.

App passwords are less secure than using up-to-date apps and services that use modern security standards. Before you create an app password, you should check to see if your app needs this in order to sign in.

[Learn more](#)

Your app passwords

mboxview	Created on 1:48 PM	🗑️
----------	--------------------	----

To create a new app specific password, type a name for it below...

Create

12.2.3 Outlook Live メールサービス

注記: *追って通知があるまで、Outlook 経由の転送はサポートされません。*

テストは Outlook Live の無料メールアカウントを使用して実施しました。Microsoft は、Office 365 および Microsoft 365 プランで有料のプレミアム Outlook メールサービスも提供しています。これらのプランでは送信制限が大幅に高くなっていますが、評価は実施していません。

ユーザーが 2 段階認証を有効にした場合、正しく認証するにはアプリパスワードを生成する必要があります。12.2.3.2 アプリパスワードはランダムな 16 文字の長い文字列です。ハッカーによる総当たり攻撃では推測不可能なため、アプリパスワードの使用は非常に安全です。

ユーザーが 2 段階認証を有効にしていない場合、Outlook SMTP サーバー経由でメールを送信できるようにするために Outlook Live アカウントのセキュリティ設定を変更する必要はありません。

Outlook SMTP にアクセスするためのユーザー名とパスワードの作成は明確ではなく、設定が混乱する可能性があります。

12.2.3.1 Outlook アカウント、ユーザー名、パスワードを作成する

有効なユーザー名とパスワードを作成するには、以下の手順をお勧めします。詳細については、以下のリンクをご覧ください。

[Microsoft アカウントについて知っておくべきことすべて | Windows コミュニティ](#)

私の場合は、すでに Microsoft アカウントと Outlook アカウントを持っていましたが、追加の構成を実行する必要がありました。

12.2.3.1.1 Microsoft アカウント (MSA として知られています) と Outlook Live アカウントを持っていません

Microsoft アカウント ページを作成するには、次のリンクを使用します。

<https://account.microsoft.com/account>

「サインイン」を選択し、「作成」を選択してから「新しいメール アドレスを取得する」を選択し、新しい MyName@outlook.com メール アドレスを作成します。

詳細は下記のリンクをご覧ください。

<https://support.microsoft.com/en-us/account-billing/how-to-create-a-new-microsoft-account-a84675c3-3e9e-17cf-2911-3d56b15c0aaf>

新しい Outlook のユーザー名とパスワードを使用して SMTP サーバー構成ダイアログを開き、ユーザー名とパスワードを設定します。メールを 1 つ転送してみて、すべてが機能するかどうかを確認してください。

12.2.3.1.2 すでに Microsoft アカウントと Outlook Live アカウントの両方をお持ちの場合

これは私が直面したケースです。以下のリンクに記載されているように、メールエイリアスを作成し、それをプライマリに設定するまで、メールの転送が正常に機能していませんでした。

<https://support.microsoft.com/en-us/office/outlook-com でメールエイリアスを追加または削除する-459b1989-356d-40fa-a689-8f285b13f1f2>

何らかの理由で、Outlook アカウントのユーザー名とパスワードは機能しませんでした。Microsoft アカウントのユーザー名とパスワードは機能しました。

12.2.3.2 Outlook のアプリパスワードを生成する

ユーザーは Outlook アカウントにログインし、2 段階認証を有効にして、Outlook アカウント用のアプリパスワードを生成する必要があります。アプリパスワードを生成するには、以下のリンクにアクセスしてください。

<https://support.microsoft.com/en-us/account-billing/using-app-passwords-with-apps-that-don-t-support-two-step-verification-5896ed9b-4263-e681-128a-a6f2979a7944>

12.3 メール送信とサイズ制限

ここに記載されている制限は、当社の知る限りのものであり、メールサービスプロバイダーによって予告なく変更される可能性があります。一般ユーザーにとって、Gmail は Yahoo! や Outlook よりも優れた、より予測可能なサービスを提供しているようです。ただし、Yahoo! は最大 39MB のメールに対応しているのに対し、Outlook は 35MB、Gmail は 25MB までしかサポートしていません。

送信制限の遵守は主にユーザーの責任となります。MBox Viewer は送信速度を 1 分あたり 30 通に制限します。

12.3.1 Gmail メールサービス

Gmail では、様々な理由により送信が拒否される場合があります。ユーザーが様々な制限を超えた場合、ユーザーアカウントは最大 24 時間ロックされることがあります。ユーザーは手動でアクセスを回復することができます。

通常ユーザーは 1 日あたり最大 500 通のメールを送信できます。

メールの送信速度が速すぎる場合や受信者が多すぎる場合は、メールが拒否されることがあります。

25MB までのメールが受け付けられます。

12.3.2 Yahoo メールサービス

Yahoo!は様々な理由により送信を拒否する場合があります。ユーザーが様々な制限を超えた場合、ユーザーアカウントは最大 24 時間ロックされることがあります。ユーザーは手動でアクセスを回復することができます。

Yahoo は送信およびサイズの制限を公開していません。

39MB までのメールが受け付けられます。

12.3.3 Outlook メールサービス

Outlook では、スパムメールの疑いなど、様々な理由で送信が拒否されることがあります。ユーザーが様々な制限を超えた場合、ユーザーアカウントは最大 24 時間ロックされることがあります。ユーザーは手動でアクセスを回復できます。

最大 35MB のメールが受信可能です。これより大きなサイズのメールを送信しようとすると、送信は成功したように見えますが、Outlook アカウントには拒否メールが送信されます。

その他の送信制限は不明です。

12.4 SMTP サーバーの設定

「ファイル → SMTP メールサーバー設定」を選択して設定ダイアログを開きます。リストされているメールサービスから 1 つを選択し、ユーザーアカウントとパスワードを入力して「保存」ボタンをクリックして変更を保存します。

「閉じる」ボタンを選択すると、選択したサービス用の SMTP.ini ファイルが C:\Users\%USERNAME%\AppData\Local\MBoxViewer\MailService に作成され、ForwardEmlFile.exe によって電子メールの転送をサポートするために使用されます。

「キャンセル」ボタンは、ダイアログで行われた未保存の変更をクリアするために使用します。別のメールサービスに切り替えると、ダイアログで行われた未保存の変更は失われます。

MBox Viewer を終了すると、安全上の理由からユーザー パスワードはシステムに保存されず、メールを再度転送する前に再度入力する必要があります。

12.4.1 SMTP サーバーのデフォルト設定

SMTP サーバーアドレス	smtp.gmail.com	smtp.mail.yahoo.com	smtp-mail.outlook.com
SMTP サーバーポート	587	587	587
SMTP セキュリティ	開始 TLS	開始 TLS	開始 TLS

12.5 メールの転送

MBox ビューアは、単一または複数の電子メールの転送をサポートします。

送信元アドレスは、カスタム SMTP 構成オプションの場合のみユーザーが指定できることに注意してください。

12.5.1 1 通のメールを転送する

任意のメールを右クリックし、「メールを転送」オプションを選択すると、選択したメールを転送するためのダイアログが開きます。ダイアログは必要に応じて手動でサイズを変更できます。

Forward Mail

Service: Gmail

Subject: Re: svnservice with corrupt timestamps and malformed text representation

From: john.silver@gmail.com

To: tom.feld@gmail.com

CC: barbara.forest@gmail.com

BCC:

User Text:

Please review the attachment and provide feedback.

Thank you,
John

Clear Send Cancel

宛先フィールドは必ず入力してください。その他のフィールドは任意です。ダイアログを開くと、宛先、CC、BCC、ユーザーテキストの各フィールドには、前回のダイアログで設定した値が表示されます。「クリア」ボタンをクリックすると、これらのフィールドをクリアできます。

すべてのアドレスが正しく有効であることを確認することが重要です。無効なアドレスがある場合、メールサービスから該当ユーザーのメールアカウントに拒否メールが送信されます。MBox Viewer はユーザーのメールアカウントにアクセスできません。

12.5.2 選択したメールのリストを転送する

ユーザーは複数の電子メールを選択し、選択した電子メールのいずれかを右クリックして「メールを転送」オプションを選択し、選択した電子メールを転送するためのダイアログを開くことができます。

ユーザー アカウントの停止を回避するために、ユーザーが 100 を超える電子メールのバッチを転送しようとすると、ユーザーに警告が表示されます。また、転送対象として選択したメールのいずれかが、サポートされている最大サイズより大きい場合も、ユーザーに警告が表示されます。

12.5.3 エラー報告

メールの転送に失敗した場合、MBox Viewer は関連するエラー テキストを含むメッセージ ボックスを作成します。

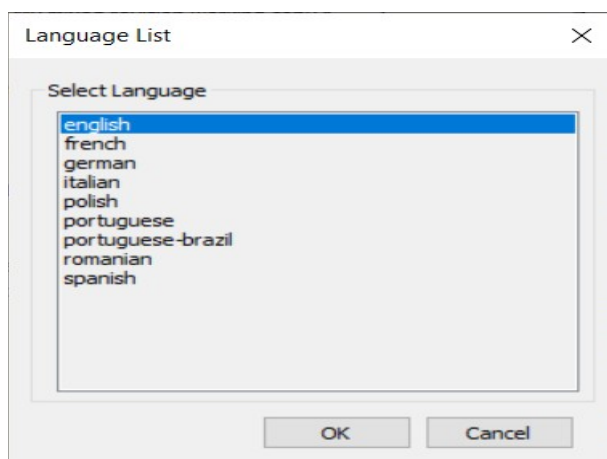
13 複数言語のサポート

バージョン 1.0.3.47 以降、MBox Viewer は複数の言語に対するより完全なサポートを実装しています。

ウィンドウのテキスト、ボタンのラベル、ダイアログ、メッセージ ボックス、メールのメニュー、メール ファイルとヘルプ ファイル、ユーザー ガイドのメニュー ラベルなどを、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ポーランド語、ポルトガル語、およびポルトガル語 (ブラジル) で表示するようにユーザーが設定できます。

13.1 言語設定

MBox Viewer で使用する言語は、メインメニューの「言語」→「言語を選択」オプションを選択することで設定できます。以下のダイアログが表示され、新しい言語を選択できます。新しい言語を有効にするには、MBox Viewer を再起動する必要があります。



13.2 制限事項

1. 多くの場合、他言語に翻訳されたテキストは英語テキスト用に定義された固定テンプレートに収まらず、切り捨てられてしまいます。回避策として、切り捨てられたテキストの上にカーソルを移動すると、全文を表示するツールヒントが表示されます。
2. 英語のテキストと文書は無料の Google 翻訳サービスによって他の言語に翻訳されましたが、まだ人間によるレビューは行われていません。無料の Google 翻訳サービスは特定の分野に特化していないため、限界があります。日常的によく話されている言語を翻訳するように設計されていません。Google 翻訳サービスのより適切な活用方法を検討する必要があります。
3. 無料の Google 翻訳サービスで翻訳された WORD 文書には、書式設定などの問題が発生する場合があります。翻訳された WORD 文書は、後ほど PDF にエクスポートされます。

14 Windows コード ページ識別子

以下の表は、Windows プラットフォームでサポートされている文字セット／コードページを示しています。このリストは、以下のリンクに基づいています。

[https://msdn.microsoft.com/en-us/library/windows/desktop/dd317756\(v=vs.85\).aspx](https://msdn.microsoft.com/en-us/library/windows/desktop/dd317756(v=vs.85).aspx)

コードページ	名前	表示名
37	IBM037	IBM EBCDIC (米国 - カナダ)
437	IBM437	OEM 米国
500	IBM500	IBM EBCDIC (国際)
708	ASMO-708	アラビア語 (ASMO 708)
720	DOS-720	アラビア語 (DOS)
737	ibm737	ギリシャ語 (DOS)
775	ibm775	バルト海 (DOS)
850	IBM850	西ヨーロッパ (DOS)
852	IBM852	中央ヨーロッパ (DOS)
855	IBM855	OEM キリル文字
857	ibm857	トルコ語 (DOS)
858	IBM00858	OEM 多言語ラテン語 I
860	IBM860	ポルトガル語 (DOS)
861	ibm861	アイスランド語 (DOS)
862	DOS-862	ヘブライ語 (DOS)
863	IBM863	カナダフランス語 (DOS)
864	IBM864	アラビア語 (864)
865	IBM865	北欧 (DOS)
866	cp866	キリル文字 (DOS)
869	ibm869	ギリシャ語、現代 (DOS)
870	IBM870	IBM EBCDIC (多言語ラテン-2)
874	ウィンドウズ 874	タイ語 (Windows)
875	cp875	IBM EBCDIC (現代ギリシャ語)
932	シフト_jis	日本語 (Shift-JIS)
936	gb2312	中国語 (簡体字) (GB2312)
949	ks_c_5601-1987	韓国語
950	ビッグ 5	中国語 (繁体字) (Big5)
1026	IBM1026	IBM EBCDIC (トルコ語ラテン文字 5)
1047	IBM01047	IBM ラテン 1
1140	IBM01140	IBM EBCDIC (米国・カナダ・ユーロ)
1141	IBM01141	IBM EBCDIC (ドイツ・ユーロ)
1142	IBM01142	IBM EBCDIC (デンマーク・ノルウェー・ユーロ)
1143	IBM01143	IBM EBCDIC (フィンランド・スウェーデン・ユーロ)
1144	IBM01144	IBM EBCDIC (イタリア・ユーロ)

コードページ	名前	表示名
1145	IBM01145	IBM EBCDIC (スペイン-ユーロ)
1146	IBM01146	IBM EBCDIC (英国ユーロ)
1147	IBM01147	IBM EBCDIC (フランス-ユーロ)
1148	IBM01148	IBM EBCDIC (国際ユーロ)
1149	IBM01149	IBM EBCDIC (アイスランド語 - ユーロ)
1200	UTF-16	ユニコード
1201	ユニコード FFFE	Unicode(ビッグエンディアン)
1250	ウインドウズ 1250	中央ヨーロッパ(Windows)
1251	ウインドウズ-1251	キリル文字(Windows)
1252	Windows-1252	西ヨーロッパ(Windows)
1253	ウインドウズ-1253	ギリシャ語(Windows)
1254	ウインドウズ-1254	トルコ語(Windows)
1255	ウインドウズ-1255	ヘブライ語(Windows)
1256	ウインドウズ-1256	アラビア語(Windows)
1257	ウインドウズ-1257	バルト海(Windows)
1258	ウインドウズ-1258	ベトナム語(Windows)
1361	ヨハブ	韓国語(ジョハブ)
10000	マッキントッシュ	西ヨーロッパ(Mac)
10001	x-mac-japanese	日本語(Mac)
10002	x-mac-chinesetrad	中国語(繁体字)(Mac)
10003	x-mac-韓国語	韓国語(Mac)
10004	x-mac-アラビア語	アラビア語(Mac)
10005	x-mac-ヘブライ語	ヘブライ語(Mac)
10006	x-mac-greek	ギリシャ語(Mac)
10007	x-mac-キリル文字	キリル文字(Mac)
10008	x-mac-chinesesimp	中国語(簡体字)(Mac)
10010	x-mac-ルーマニア語	ルーマニア語(Mac)
10017	x-mac-ウクライナ語	ウクライナ語(Mac)
10021	x-mac-thai	タイ語(マック)
10029	x-mac-ce	中央ヨーロッパ(Mac)
10079	x-mac-アイスランド語	アイスランド語(Mac)
10081	x-mac-トルコ語	トルコ語(Mac)
10082	x-mac-クロアチア語	クロアチア語(Mac)
12000	UTF-32	ユニコード(UTF-32)

コードページ	名前	表示名
12001	utf-32BE	Unicode (UTF-32 ビッグエンディアン)
20000	x-中国語-CNS	中国語(繁体字)(CNS)
20001	x-cp20001	TCA 台湾
20002	x-Chinese-Eten	中国語(繁体字)(エテン)
20003	x-cp20003	IBM5550 台湾
20004	x-cp20004	テレテキスト台湾
20005	x-cp20005	王台湾
20105	x-IA5	西ヨーロッパ(IA5)
20106	x-IA5-ドイツ語	ドイツ語(IA5)
20107	x-IA5-スウェーデン語	スウェーデン語(IA5)
20108	x-IA5-ノルウェー語	ノルウェー語(IA5)
20127	US-ASCII	US-ASCII
20261	x-cp20261	T.61
20269	x-cp20269	ISO-6937
20273	IBM273	IBM EBCDIC (ドイツ)
20277	IBM277	IBM EBCDIC (デンマーク-ノルウェー)
20278	IBM278	IBM EBCDIC (フィンランド-スウェーデン)
20280	IBM280	IBM EBCDIC (イタリア)
20284	IBM284	IBM EBCDIC (スペイン)
20285	IBM285	IBM EBCDIC (英国)
20290	IBM290	IBM EBCDIC (日本語カタカナ)
20297	IBM297	IBM EBCDIC (フランス)
20420	IBM420	IBM EBCDIC (アラビア語)
20423	IBM423	IBM EBCDIC (ギリシャ語)
20424	IBM424	IBM EBCDIC (ヘブライ語)
20833	x-EBCDIC-韓国語拡張	IBM EBCDIC (韓国語拡張)
20838	IBM-タイ	IBM EBCDIC (タイ語)
20866	koi8-r	キリル文字 (KOI8-R)
20871	IBM871	IBM EBCDIC (アイスランド語)
20880	IBM880	IBM EBCDIC (キリル文字ロシア語)
20905	IBM905	IBM EBCDIC (トルコ語)
20924	IBM00924	IBM ラテン 1
20932	EUC-JP	日本語 (JIS 0208-1990 および 0212-1990)
20936	x-cp20936	中国語(簡体字)(GB2312-80)

コードページ	名前	表示名
20949	x-cp20949	韓国のワンソン
21025	cp1025	IBM EBCDIC (キリル文字 セルビア語 - ブルガリア語)
21866	koi8-u	キリル文字 (KOI8-U)
28591	iso-8859-1	西ヨーロッパ (ISO)
28592	iso-8859-2	中央ヨーロッパ (ISO)
28593	iso-8859-3	ラテン語 3 (ISO)
28594	iso-8859-4	バルト海 (ISO)
28595	iso-8859-5	キリル文字 (ISO)
28596	iso-8859-6	アラビア語 (ISO)
28597	iso-8859-7	ギリシャ語 (ISO)
28598	iso-8859-8	ヘブライ語 (ISO ビジュアル)
28599	iso-8859-9	トルコ語 (ISO)
28603	iso-8859-13	エストニア語 (ISO)
28605	iso-8859-15	ラテン語 9 (ISO)
29001	x-ヨーロッパ	エウロパ
38598	iso-8859-8-i	ヘブライ語 (ISO 論理)
50220	iso-2022-jp	日本語 (JIS)
50221	csISO2022JP	日本語 (JIS-1 バイトかな入力可)
50222	iso-2022-jp	日本語 (JIS - 1 バイトかなを許可 - SO/SI)
50225	iso-2022-kr	韓国語 (ISO)
50227	x-cp50227	中国語 (簡体字) (ISO-2022)
51932	euc-jp	日本語 (EUC)
51936	EUC-CN	中国語 (簡体字) (EUC)
51949	EUC-KR	韓国語 (EUC)
52936	hz-gb-2312	中国語 (簡体字) (HZ)
54936	GB18030	中国語 (簡体字) (GB18030)
57002	x-iscii-de	ISCII デーヴァナーガリー文字
57003	x-iscii-be	ISCII ベンガル語
57004	x-iscii-ta	ISCII タミル語
57005	x-iscii-te	ISCII テルグ語
57006	x-iscii-as	ISCII アッサム語
57007	x-iscii-or	ISCII オリヤー語
57008	x-iscii-ka	ISCII カンナダ語

コードページ	名前	表示名
57009	x-iscii-ma	ISCII マラヤーラム語
57010	x-iscii-gu	ISCII グジャラート語
57011	x-iscii-pa	ISCII パンジャブ語
65000	UTF-7	ユニコード(UTF-7)
65001	UTF-8	ユニコード(UTF-8)

14.1 不明なコードページ名の処理

場合によっては、mboxview は不明なコード名を Windows でサポートされている同等のコード名にマッピングします。

不明なコードネーム	コード名にマッピング
gbk	GB18030
cp1252	Windows-1252
アスキー	US-ASCII
cp819	iso-8859-1
ラテン 1	iso-8859-1
ラテン 2	iso-8859-2
ビッグ 5	ビッグ 5
SJIS	シフト_jis